

報告第1号 坂東市公共交通に関する市民アンケート調査結果について

1. 市民アンケートの実施概要

項 目	内 容
実施時期	令和元年 8 月 30 日～令和元年 9 月 20 日
実施目的	坂東市民全体の移動実態や公共交通全般に関するニーズを把握するため
実施方法	郵送配布、郵送回収
対象者	15 歳以上の市民 2,400 人 (生産年齢(15～64 歳)から 1,200 人、高齢者(65 歳以上)から 1,200 人)
回収数	995 票
回収率	41.5%

2. 集計結果のまとめ

(1)市民の日常の外出先について

通勤・通学、買物、通院、その他の目的のいずれにおいても、外出先は市内が最も多かった。さらに、各目的で、常総市や境町、守谷市、つくば市等の近隣市町への移動も多かった。

(2)市民の移動手段の実態について

通勤・通学、買物、通院、その他の目的のいずれにおいても、自分で運転する自動車や家族等の送迎で移動する人が多い。

鉄道を利用すると回答した人は 40%で、守谷駅が最も多く利用されている。駅までの交通手段は自分で運転する自動車や家族等の送迎が多い。

民間の路線バスを利用すると回答した人は 4.2%、コミュニティバス「坂東号」を利用すると回答した人は 0.5%であり、非常に低い。バス停までの交通手段は徒歩が 70%である。

家族等に送迎してもらうことがある人は 30%であり、若年層や高齢層が多い。送迎してもらうことについて、申し訳ないが仕方がないと思う人が最も多い。

(3)市民の移動手段への考えについて

運転免許証を持つ人が 85%と多いが、不安に思いながら運転している人が各世代におり、全体で 10%いる。また、高齢になったときの日常生活の移動が不安と感じている人が 67%いる。さらに、高齢になったら運転免許証の返納を考えている人や運転しないことを考えている人が 61%いる。

(4)市民の公共交通の認知度について

コミュニティバス「坂東号」の認知度は86%、デマンドタクシー「らくらく」の認知度は49%であった。しかし、コミュニティバス「坂東号」を利用したことがある人は6%、デマンドタクシー「らくらく」に登録している人は4%であった。また、公共交通を使いやすくするために情報発信が必要と考える人が約半数である。

(5)市民の公共交通の利用条件について

バス停まで歩いて移動できない人や自宅前に車両がきても段差がある場合自力で乗車できない人がいる。特に、85歳以上は40%がバス停まで歩いて移動できず、25%が自宅前に車両がきても段差がある場合自力で乗車できない。バスだけでなく、デマンドタクシーの充実や車両のバリアフリー化が望まれる。

50%以上の人が望むバスの利用条件は、運行間隔は1時間に1便、運行時間帯は8時台から17時台まで、バス停までは徒歩10分以内、片道の運賃は300円であった。バスで行きたい場所は病院、スーパー、駅が多かった。

(6)市民の公共交通への要望について

現在の公共交通の満足度は、満足、やや満足を合わせて6%と非常に低い。また、分からないと回答した人が49%と多く、市民の公共交通に対する関心が低い。

現在、公共交通が必要であると回答した人が30%である。また、将来の坂東市にとって公共交通が必要であると回答した人は85%である。特に若年層ほど将来公共交通が必要と考えている割合が高かった。

コミュニティバス「坂東号」、民間の路線バス、デマンドタクシー「らくらく」が、それぞれ約3割の人に今後便利になってほしい交通手段とされている。公共交通を使いやすくするために、情報発信やバス停の整備が必要と考える人が多い。

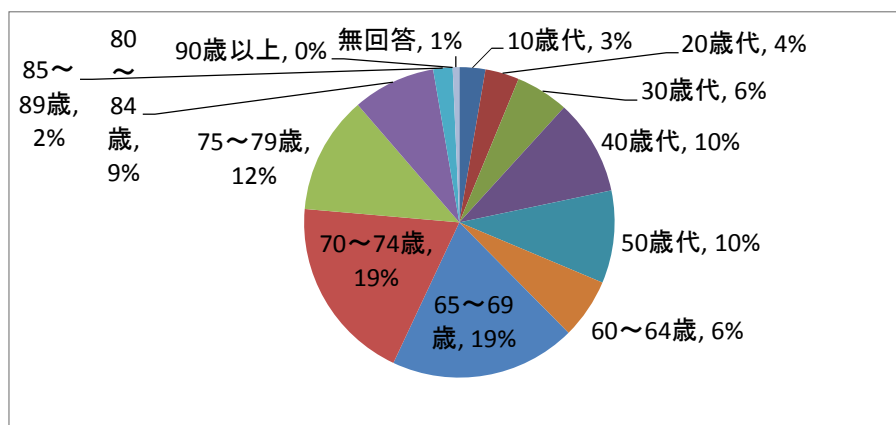
公共交通の維持・拡充のための市の負担について、税金の投入額を増やしても充実させるべき、税金の投入はやむを得ないと思う人が58%であり、税金は投入すべきでない人の7%に比べて多い。

報告第1号 坂東市公共交通に関する市民アンケート調査結果について

1.回答者概要

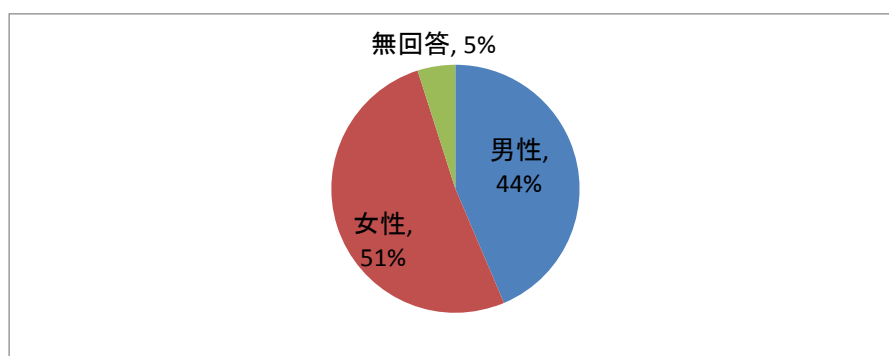
(1)年齢層

10歳代から85～89歳までの各年齢層から回答があった。65～74歳の回答が多かった。



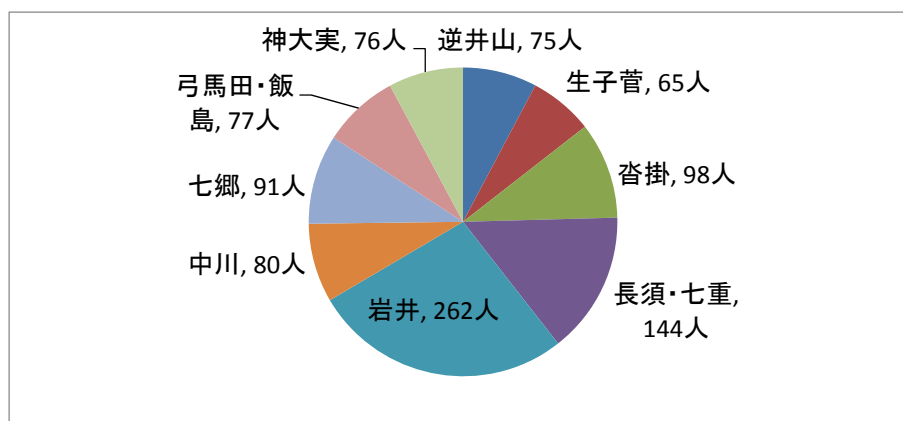
(2)性別

女性の回答が多かった。



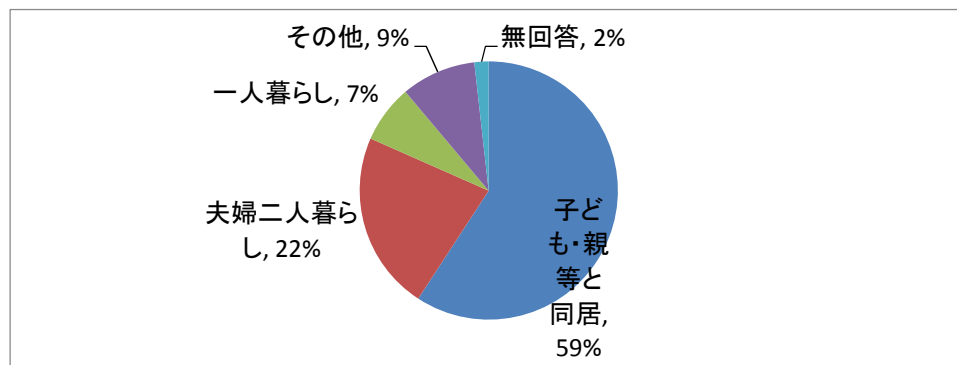
(3)住所

市内を9地区に分けると、岩井地区に住む人の回答が多かった。大字別に見ると、岩井、辺田、沓掛に住む人の回答が多かった。



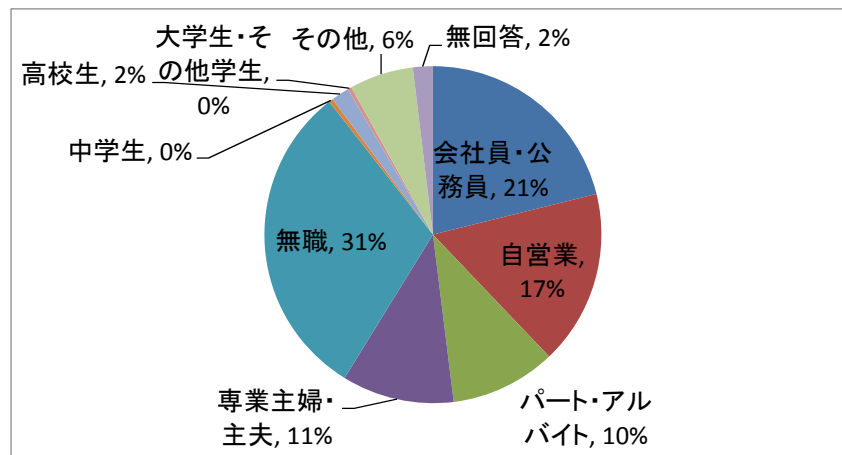
(4)世帯構成

世帯構成は、子ども・親等と同居が約6割で合った。一人暮らしは7%である。



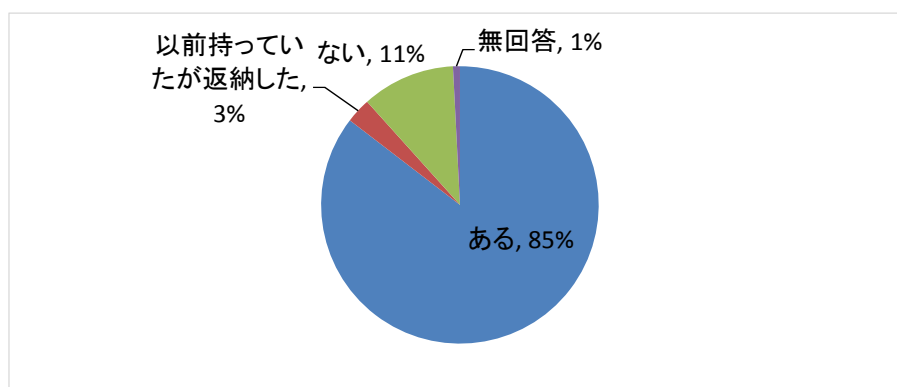
(5)職業

職業は、無職の方の回答が多かった。



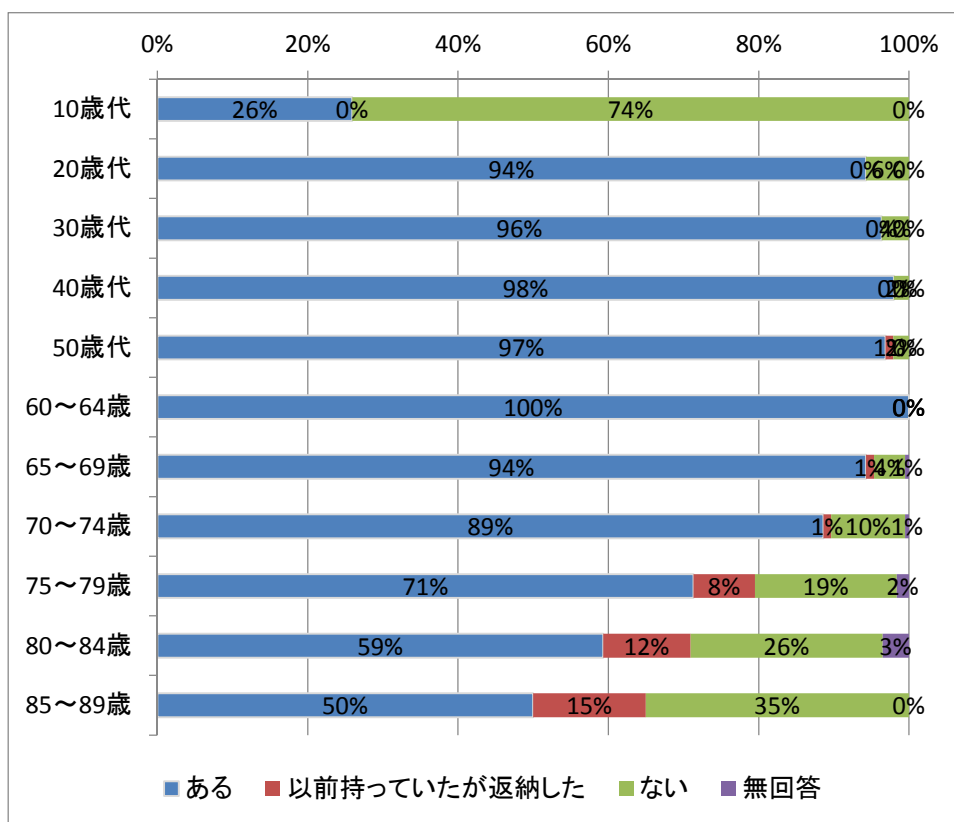
(6-1)運転免許の有無

運転免許を持つ方の回答が85%と多い。以前持っていたが返納した人は3%、ない人は11%である。



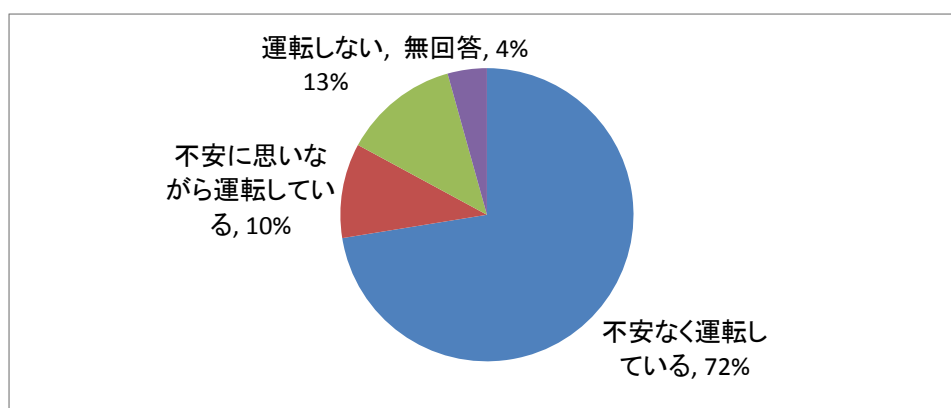
(6-2) 年齢層別の運転免許の有無

年齢層別に見ると、10歳代は免許を持たない人が74%である。運転免許を返納した人も含めて、運転免許のない人は70～74歳は11%であるが、年齢が上がる程増え、85～89歳は50%となる。



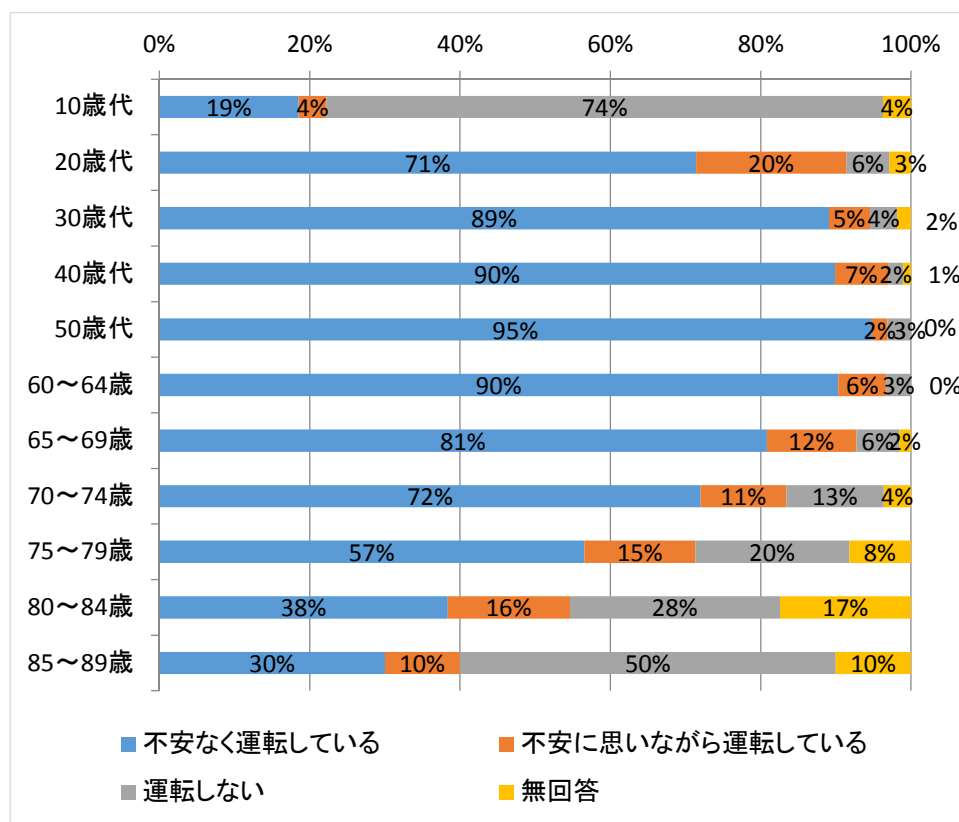
(7-1) 運転状況

運転状況は、不安なく運転している人が72%である。不安に思いながら運転している人も10%いる。



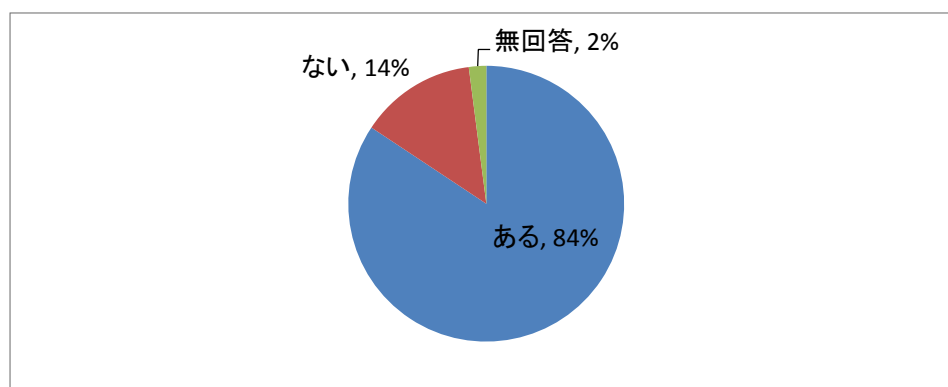
(7-2) 年齢層別の運転状況

年齢別に見ると、各年齢層で不安に思いながら運転している人がある。10 歳代の 74%、85～89 歳の 50%が運転しない。



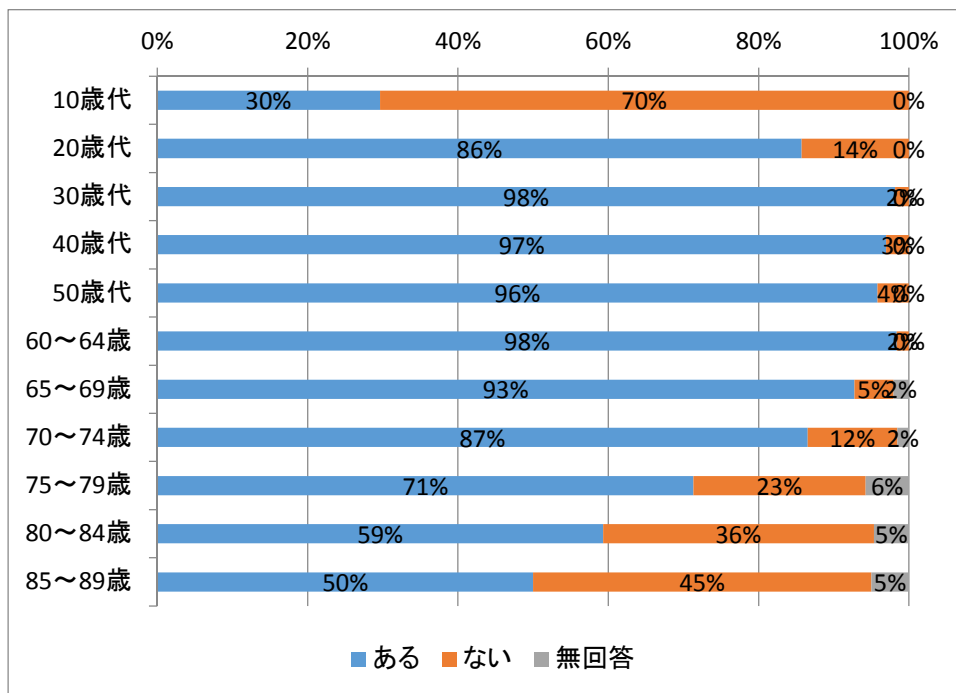
(8-1) 自分で自由に使える自動車・バイクの保有状況

自分で自由に使える自動車やバイクがある人が 84%である。



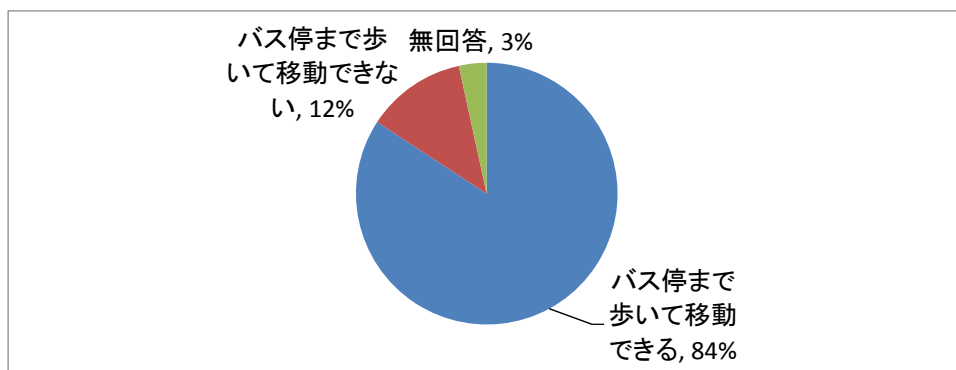
(8-2) 年齢層別の自分で自由に使える自動車・バイクの保有状況

年齢層別に見ると、30～69 歳は自分で自由に使える自動車やバイクがある人が 9 割を超えている。

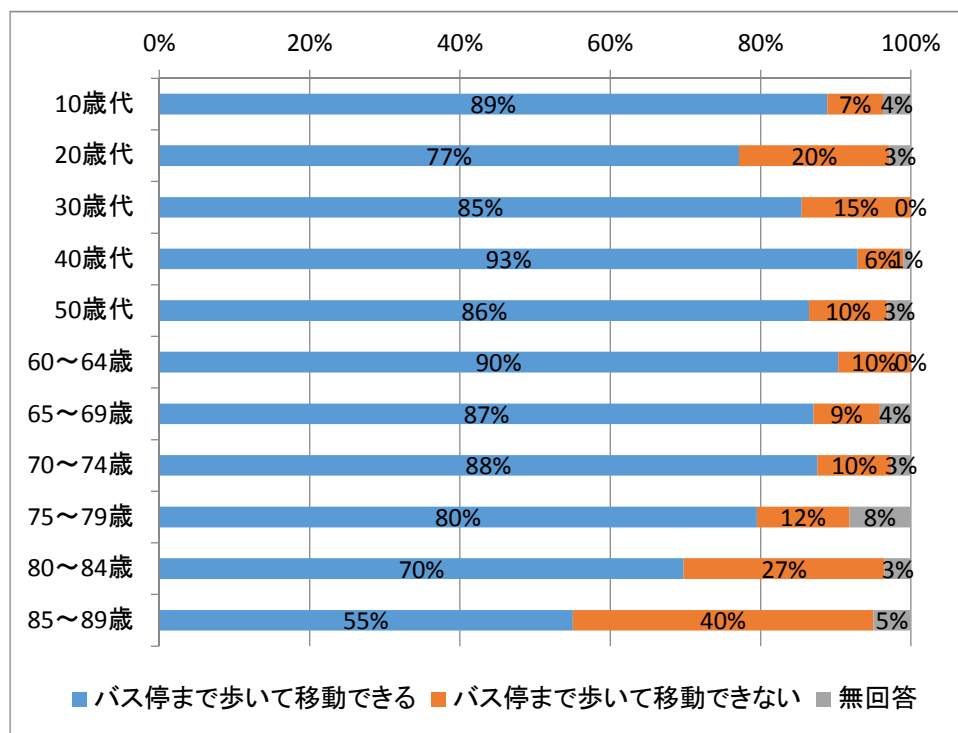


(9-1) 自宅近く(300m以内)にバス停がある場合のバス停までの歩いての移動

バス停まで歩いて移動できる人が 84%である。バス停まで歩いて移動できない人も 12%いる。

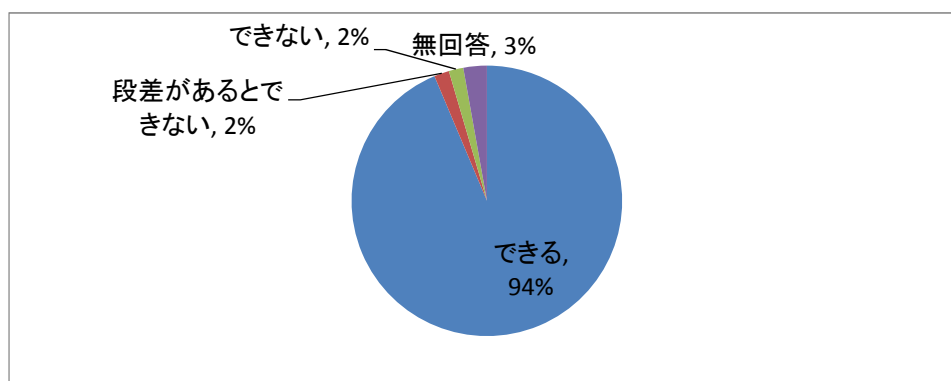


(9-2) 年齢層別の自宅近く(300m以内)にバス停がある場合のバス停までの歩いての移動
 年齢層別に見ると、85～89 歳では 40%がバス停まで歩いて移動できない。



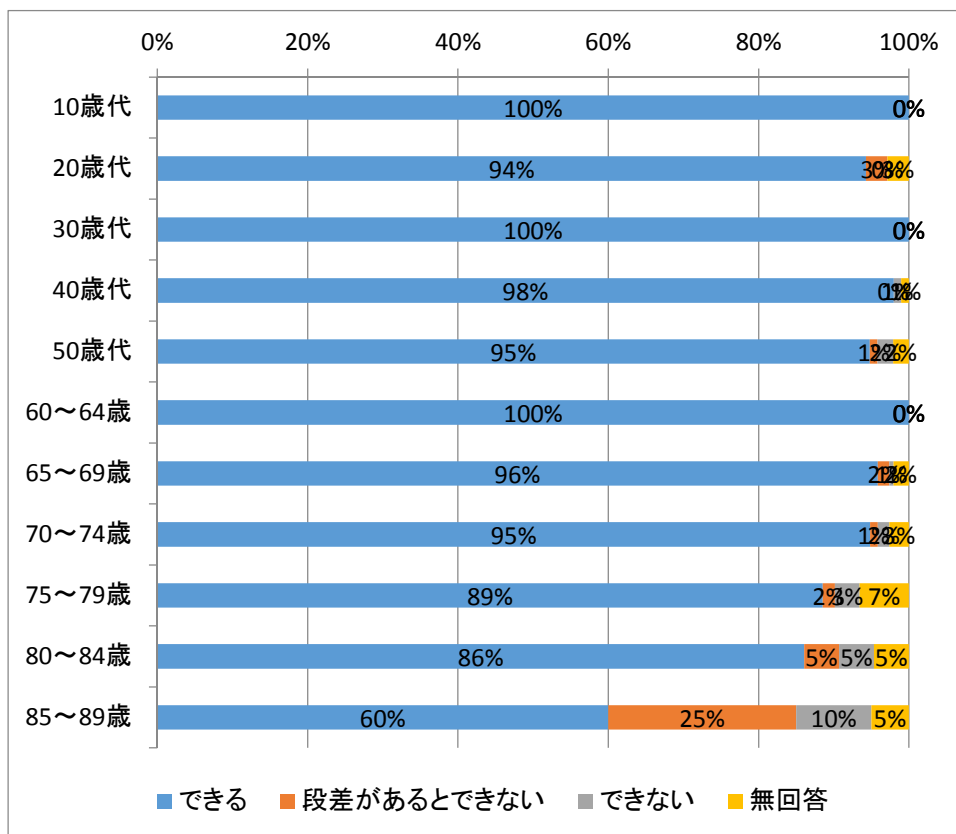
(10-1) 自宅前に車両がきた場合の自力での乗車

自宅前に車両が来た場合に自力で乗車できる人が 94%である。一方で、段差があると乗車できない人が 2%、乗車できない人が 2%いる。



(10-2) 年齢層別の自宅前に車両がきた場合の自力での乗車

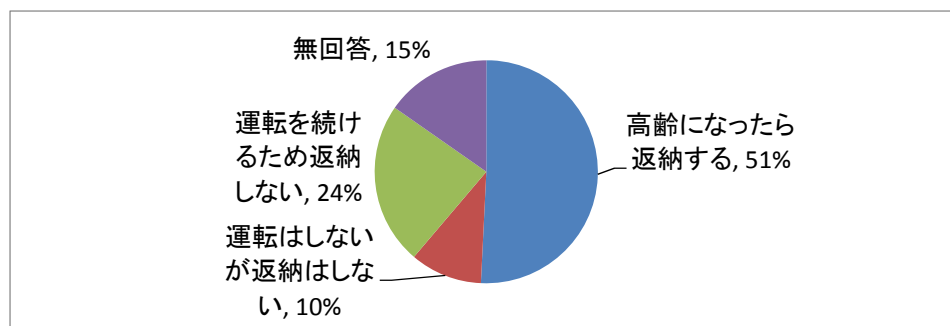
年齢層別に見ると、85～89歳の25%が段差があると乗車できず、10%が乗車できない。



2. 運転免許証の返納について

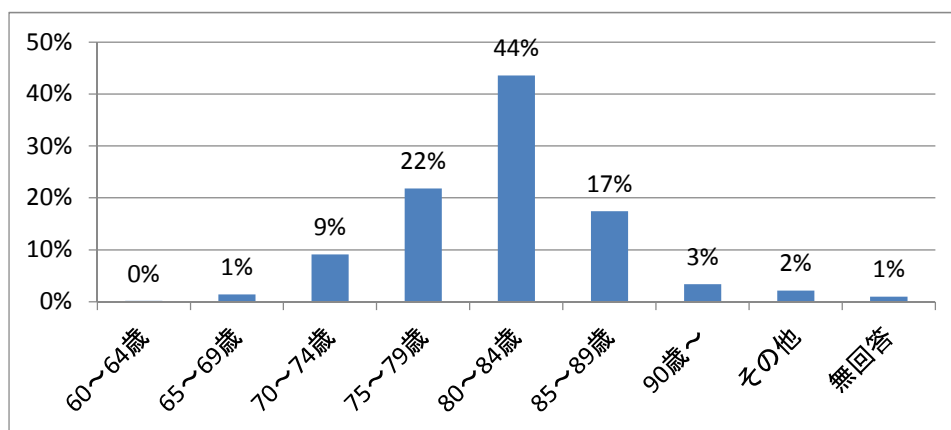
(1-1) 運転免許証の返納の考え

高齢になったら返納すると考えている人が51%である。



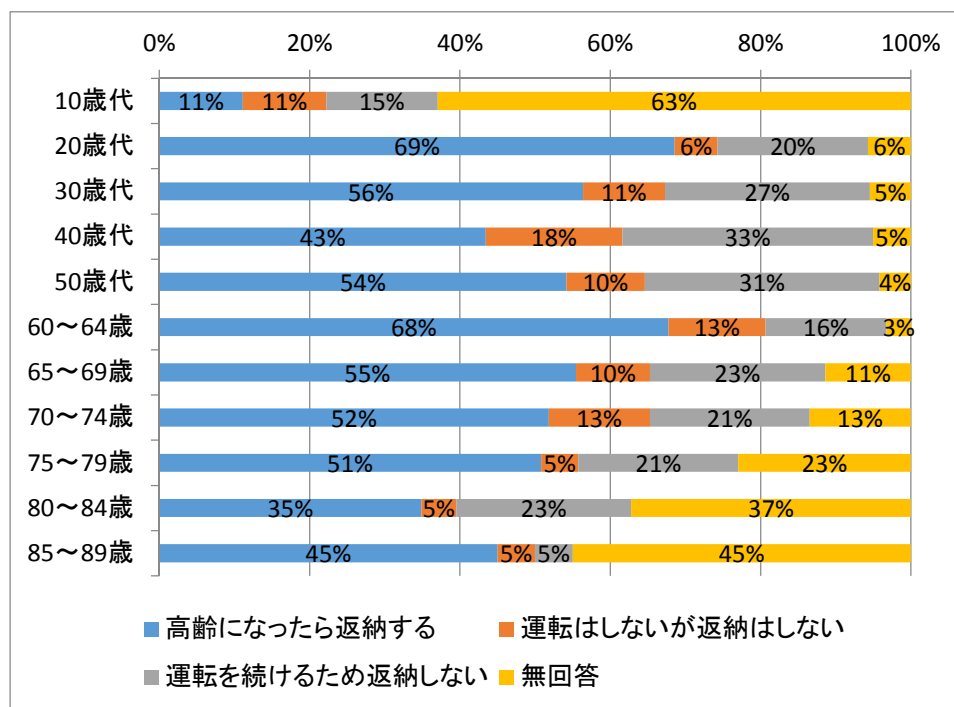
(1-2) 運転免許証の返納想定年齢

高齢になったら返納する人の返納想定年齢は 80～84 歳が 44%と多い。



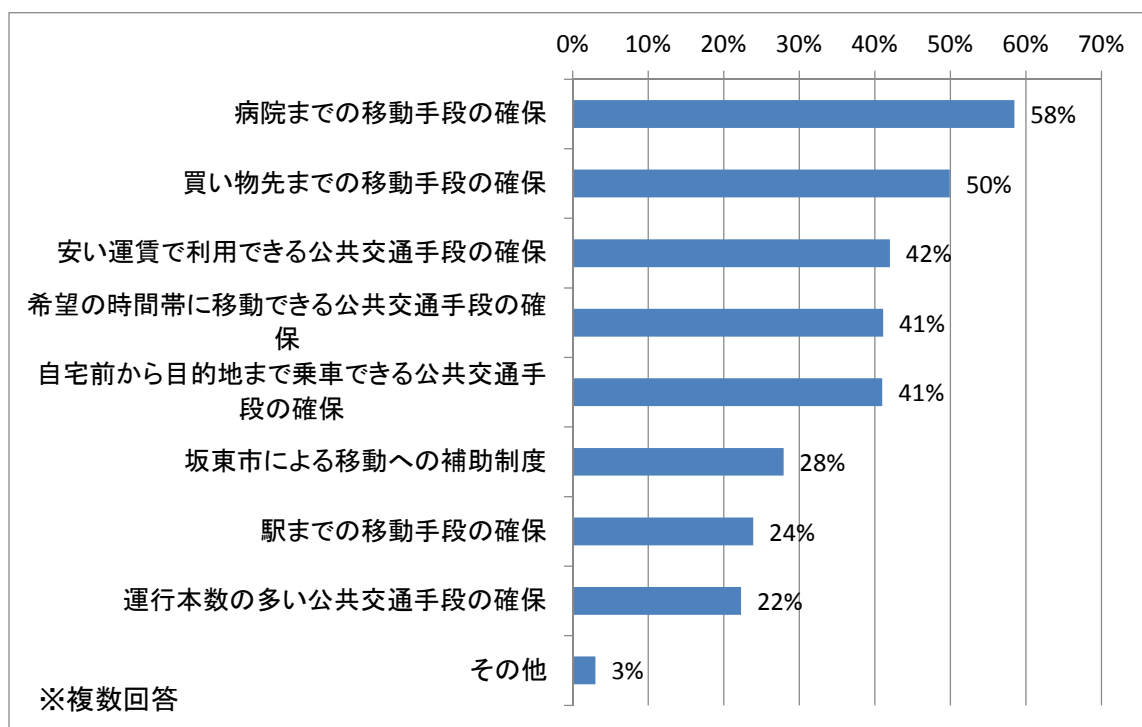
(1-3) 年齢層別の運転免許証の返納の考え

年齢別に見ると、85～89 歳でも運転を続けるため返納しないと考えている人が 5%いる。



(2) 運転免許証を返納するための条件

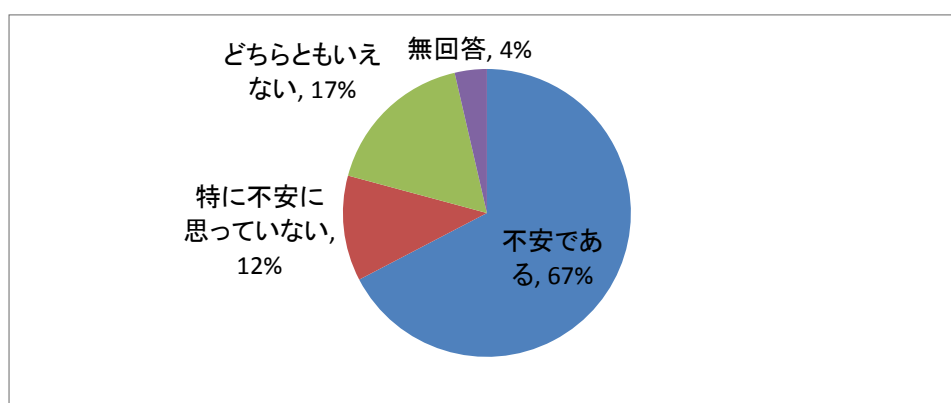
運転免許証を返納するために、病院までの移動手段の確保が必要と考える人が 58%、買物先までの移動手段の確保が必要と考える人が 50%と多い。



3. 高齢者の移動について

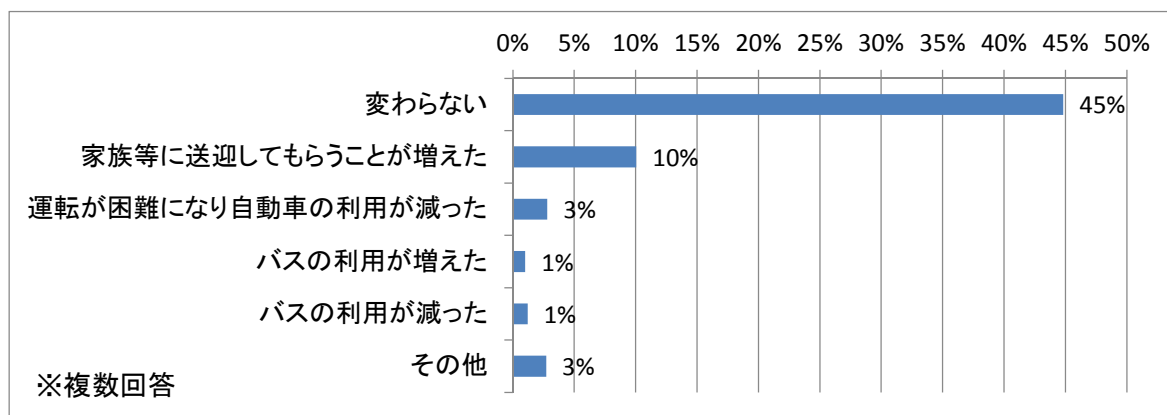
(1) 将来高齢者になったときの日常生活の移動についての思い

将来高齢者になったときの日常生活の移動が不安と感じている人が 67%である。



(2) 65 歳以上の人の若い頃と比べた日常の移動手段の変化

若い頃と比べ、日常の移動手段が変わらない人が 45%である。家族等に送迎してもらうことが増えた人が 10%いる。



4.通勤・通学の移動について

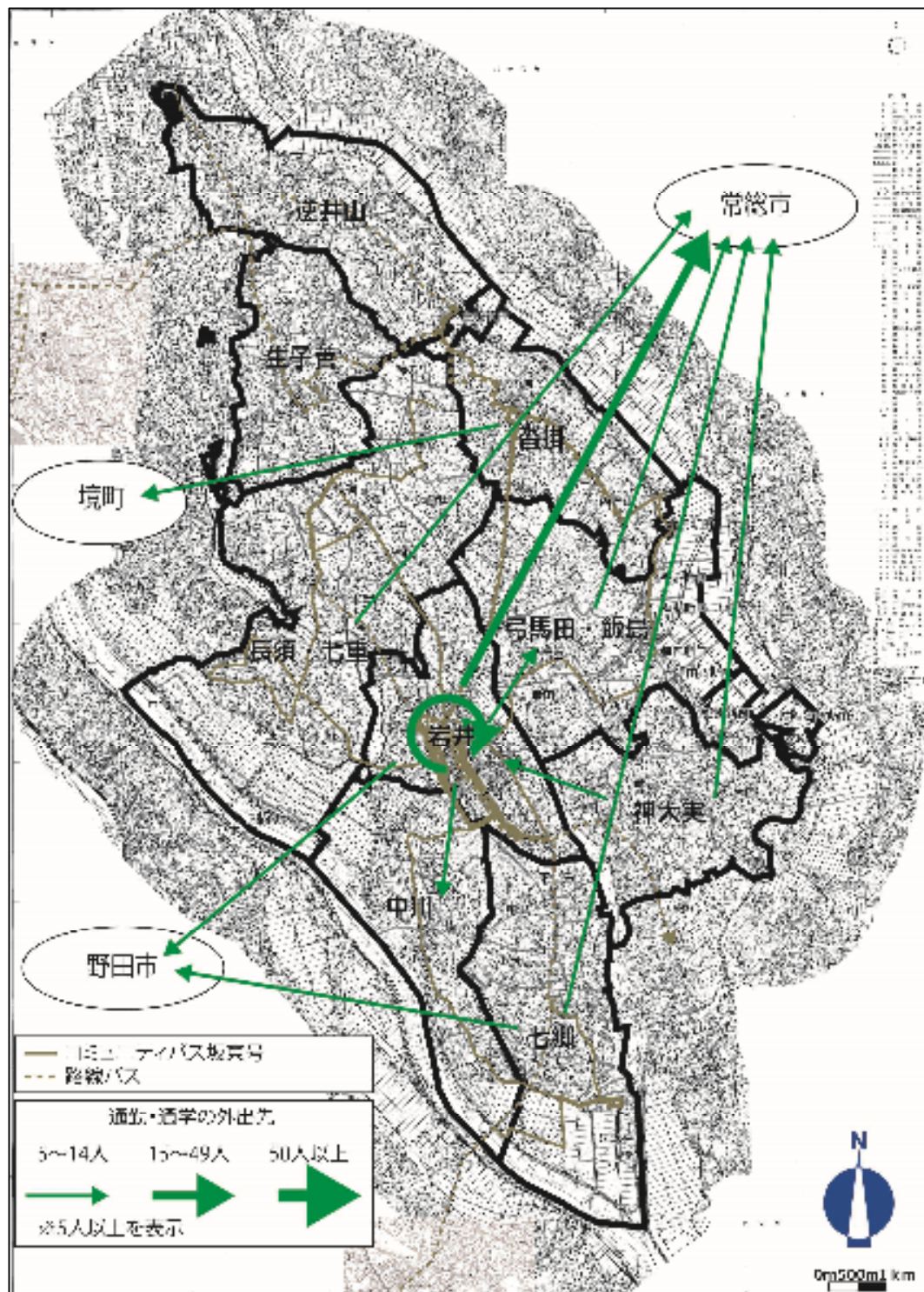
(1-1)外出先

通勤・通学先の外出先は坂東市内が最も多い。常総市や野田市への移動も多い。

坂東市内では岩井、幸神平、辺田への通勤・通学が多い。

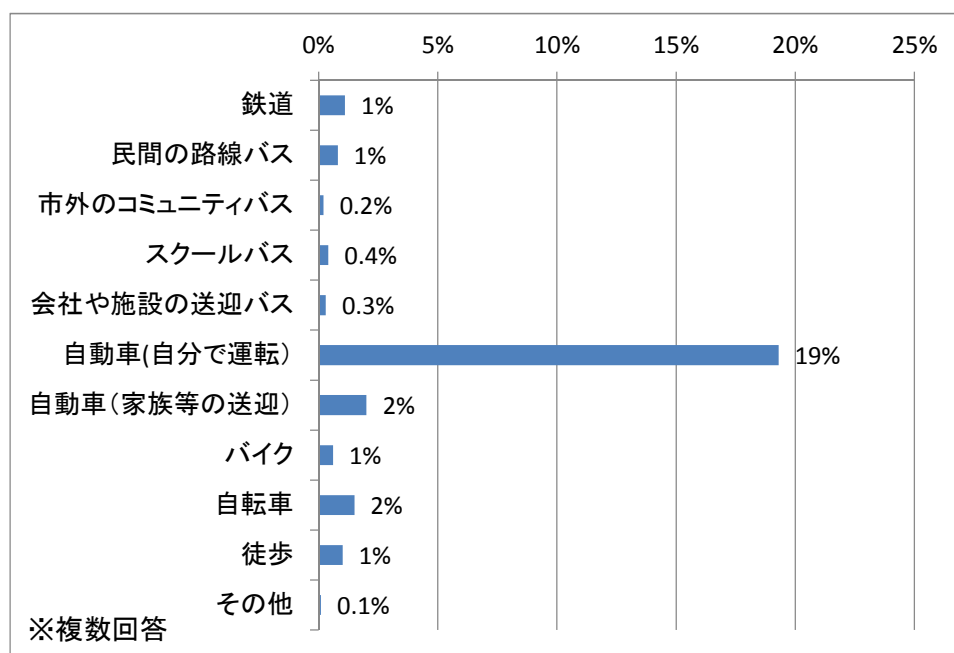
(1-2)地区別の外出先

居住地区と通勤・通学の外出先の間関係を見ると、岩井地区内での移動や市南東部の地区から常総市への移動が多い。



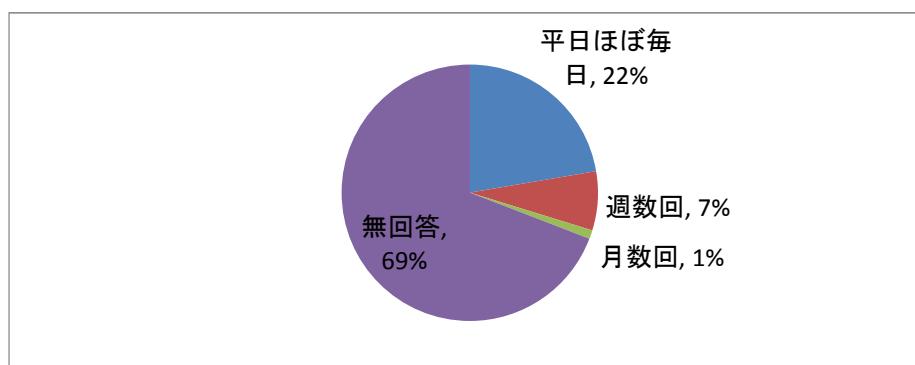
(2-1) 交通手段

通勤・通学の交通手段は自分で運転する自動車が19%と多い。



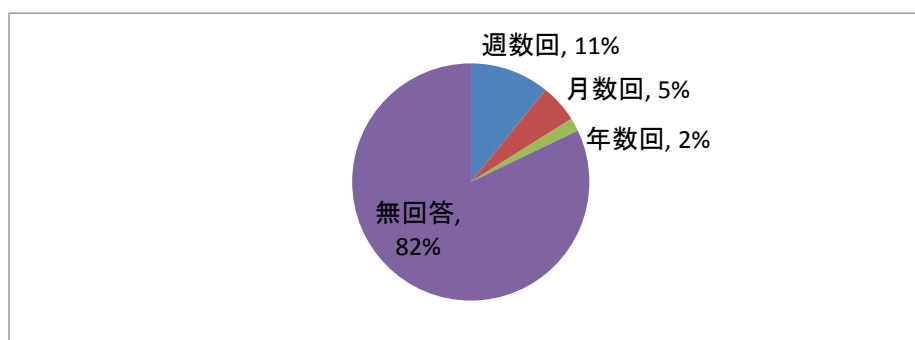
(3) 平日に行く頻度

通勤・通学の平日に行く頻度は、平日ほぼ毎日が22%である。



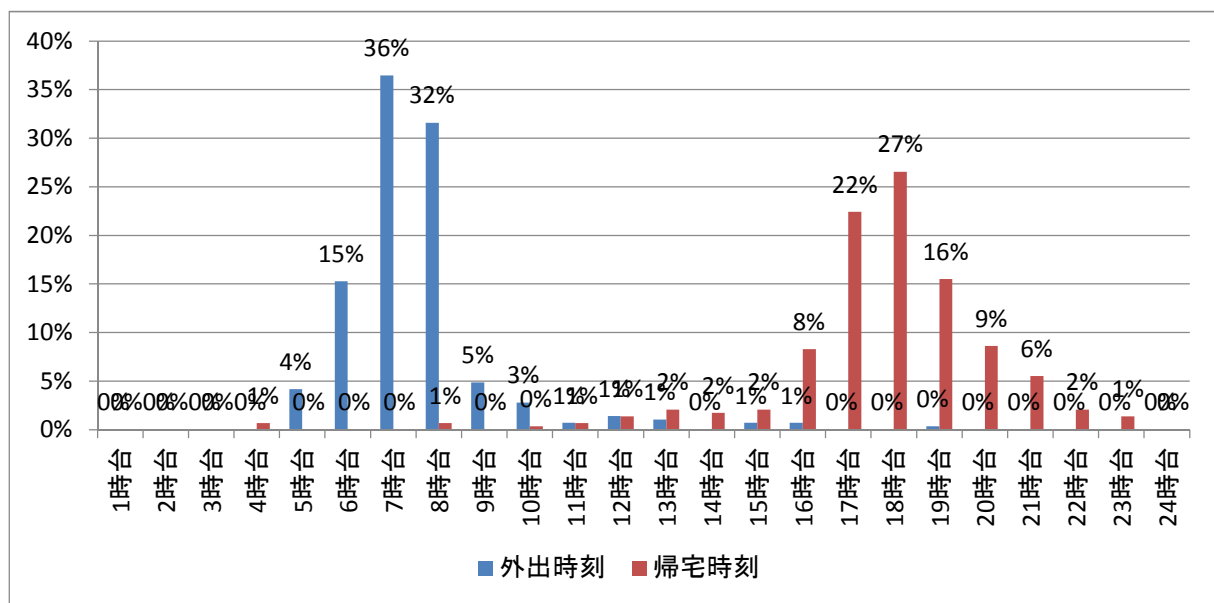
(4) 土日祝日に行く頻度

通勤・通学の土日祝日に行く頻度は週数回が11%である。



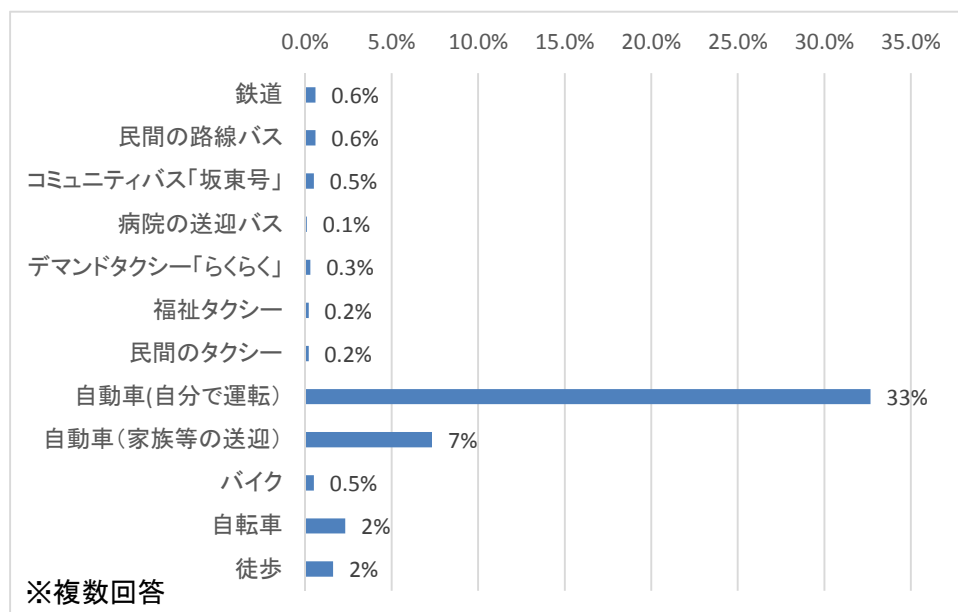
(5)外出時刻・帰宅時刻

通勤・通学の外出時刻は7時台にピークがあり、帰宅時刻は18時台にピークがある。



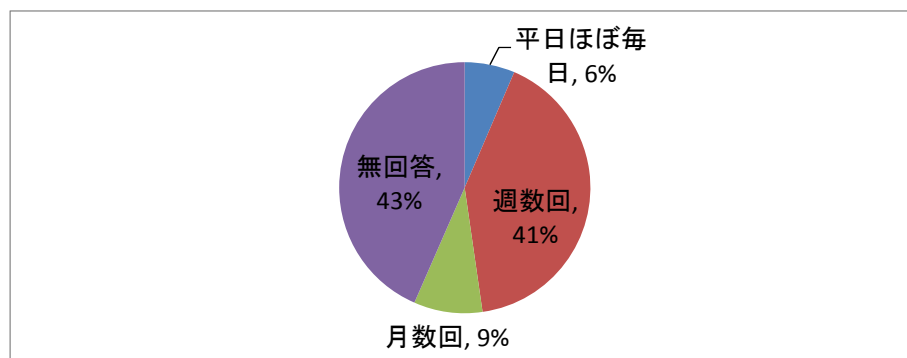
(3-1) 交通手段

買物の交通手段は、33%の人が自分で運転する自動車で移動し、7%の人が家族等の送迎で移動している。



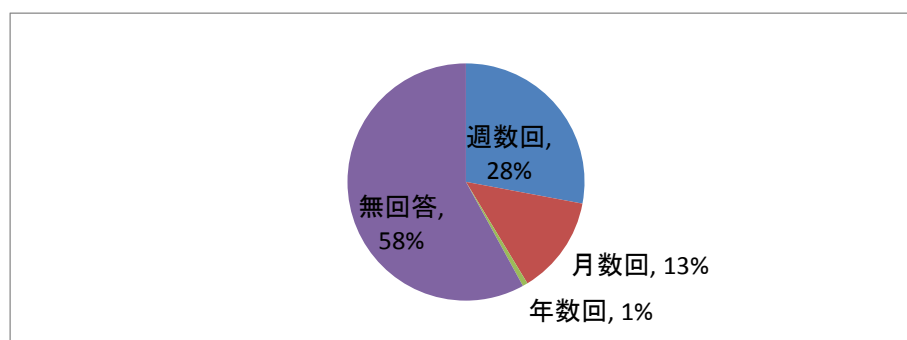
(4) 平日に行く頻度

買物に平日に行く頻度は週数回が 41%である。



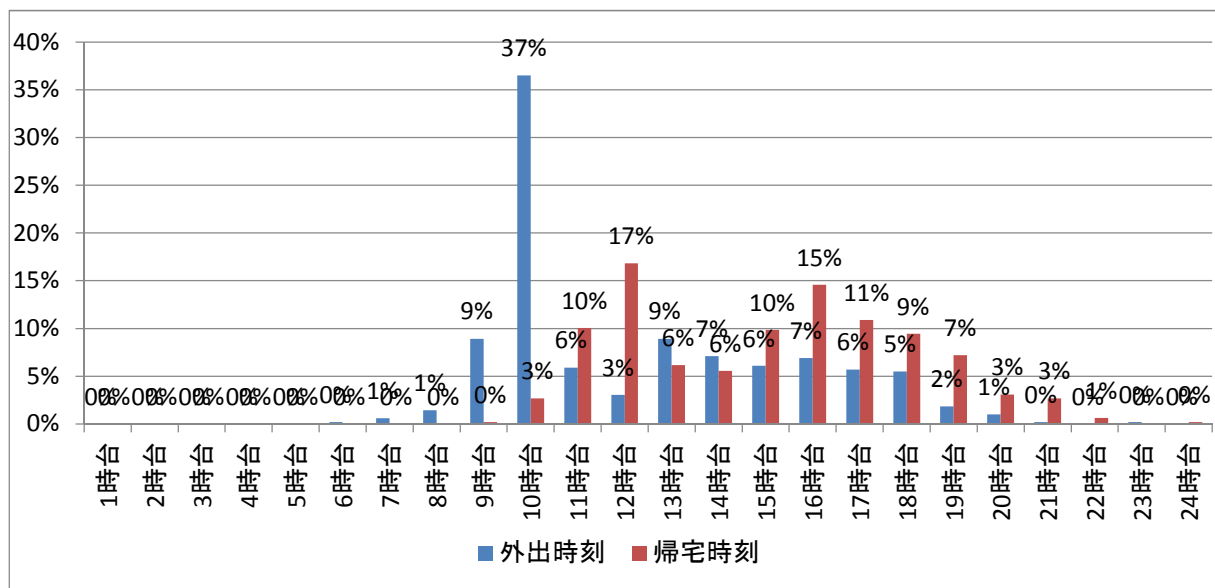
(5) 土日祝日に行く頻度

買物に土日祝日に行く頻度は、週数回が 28%である。



(6)外出時刻・帰宅時刻

買物の外出時刻は10時台がピークで37%である。帰宅時刻は12時台と16時台の2回ピークがある。



6.通院の移動について

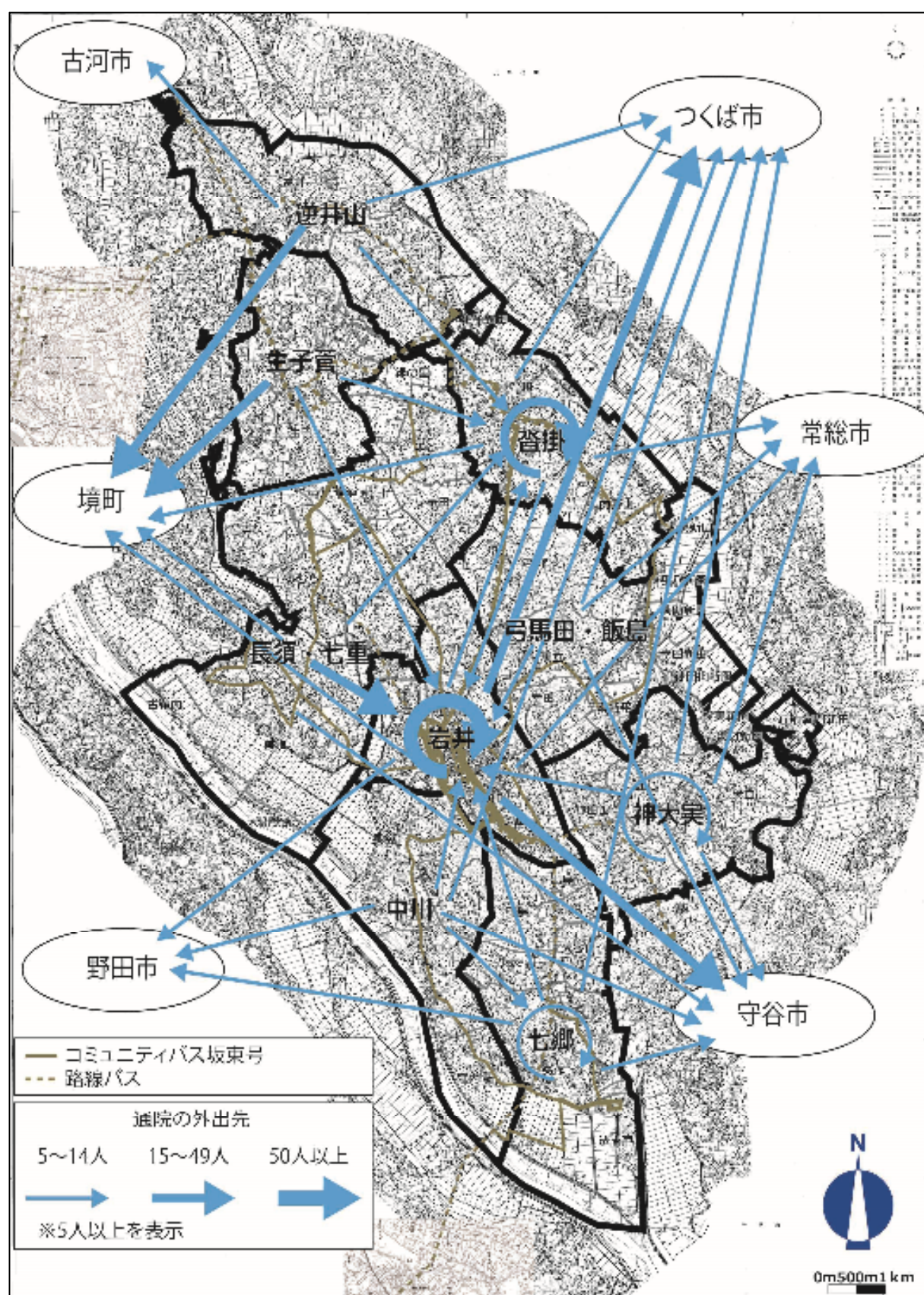
(1-1)外出先

通院の外出先は坂東市内が 24%である。境町やつくば市に通院する人もいる。坂東市内では岩井、沓掛、辺田に通院する人が多い。

	人数	割合	坂東市内	人数	割合
坂東市	236人	24%	岩井	92人	36%
境町	72人	7%	沓掛	54人	21%
つくば市	70人	7%	辺田	47人	18%
守谷市	54人	5%	矢作	27人	10%
常総市	42人	4%	神田山	8人	3%
野田市	23人	2%	逆井	4人	2%
古河市	8人	1%	長谷	4人	2%
坂東市,常総市	7人	1%	猫実	4人	2%
坂東市,つくば市	6人	1%	辺田,神田山	2人	1%
東京都	5人	1%	岩井,沓掛	1人	0%
坂東市,境町	4人	0%	岩井,長谷	1人	0%
坂東市,守谷市	4人	0%	岩井,辺田	1人	0%
つくば市,守谷市	2人	0%	半谷	1人	0%
境町,つくば市	2人	0%	矢作,岩井	1人	0%
古河市,境町	2人	0%	無回答	12人	5%
市外	2人	0%	合計	259人	100%
取手市	2人	0%	※坂東市を含む回答を集計		
常総市,守谷市	2人	0%			
いろいろ	1人	0%			
阿見町	1人	0%			
下妻市	1人	0%			
下野市	1人	0%			
坂東市,つくば市,柏市	1人	0%			
坂東市,土浦市	1人	0%			
小山市	1人	0%			
小山市,境町	1人	0%			
常総市,つくば市	1人	0%			
船橋市	1人	0%			
東京都墨田区	1人	0%			
柏市	1人	0%			
八千代町	1人	0%			
無回答	439人	44%			
合計	995人	100%			

(1-2) 地区別の外出先

居住地区と通院の外出先の関係を見ると、他の目的に比べ移動数が多い。各地区から近隣市町への移動も多い。



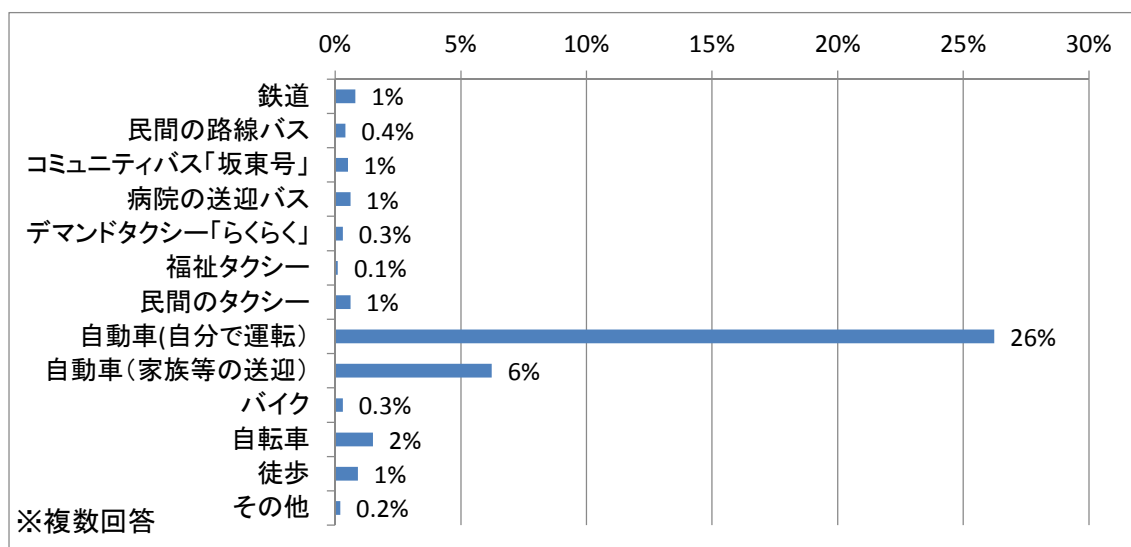
(2) 外出先施設

通院の外出先施設は、西南医療センター病院が最も多い。総合守谷第一病院や木根淵外科胃腸科病院も多い。

施設名	人数	割合
西南医療センター病院	62人	10%
総合守谷第一病院	44人	7%
木根淵外科胃腸科病院	36人	6%
吉原内科	26人	4%
石塚医院	24人	4%
きぬ医師会病院	24人	4%
筑波大学附属病院	24人	4%
ホスピタル坂東	21人	3%
高橋医院	20人	3%
安達医院	15人	2%
緑野クリニック	15人	2%
筑波記念病院	14人	2%
いのもと整形外科	12人	2%
筑波学園病院	12人	2%
存身堂医院	11人	2%
岩本医院	11人	2%
天王前クリニック	11人	2%
石川眼科クリニック	10人	2%
いとう内科胃腸科医院	10人	2%
海老原医院	10人	2%
キッコーマン総合病院	10人	2%
小張総合病院	9人	1%
つくばメディカルセンター病院	9人	1%
いわいグリーン歯科	8人	1%
田所医院	8人	1%
村田医院	8人	1%
河村胃腸科外科医院	6人	1%
守谷慶友病院	6人	1%
いとが眼科	5人	1%
倉持医院	5人	1%
松崎医院	5人	1%
水海道西部病院	5人	1%
友愛記念病院	5人	1%
清水ヶ丘診療所	4人	1%
筑波総合クリニック	4人	1%
中村医院	4人	1%

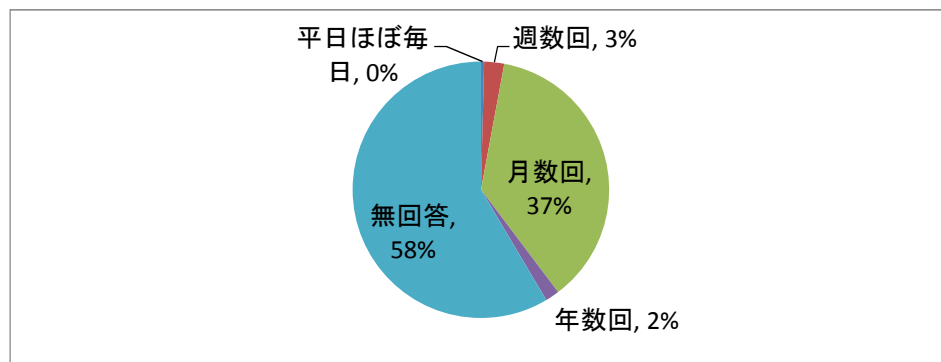
(3-1) 交通手段

通院の交通手段は、26%の人が自分で運転する自動車で移動し、6%の人が家族等の送迎で移動している。



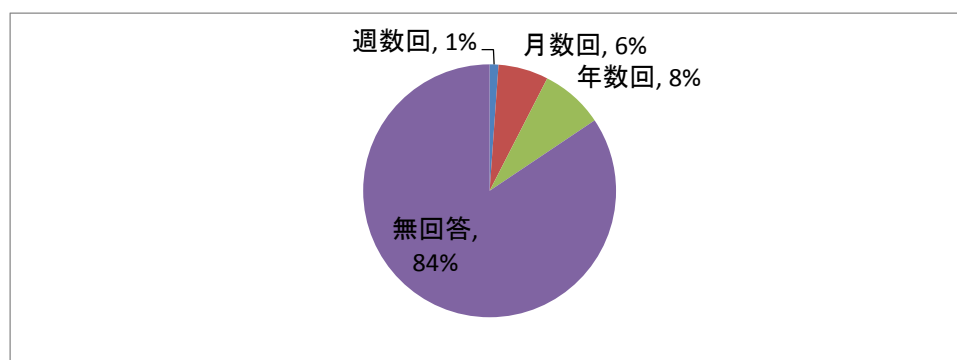
(4) 平日に行く頻度

通院に平日に行く頻度は、月数回が 37%である。



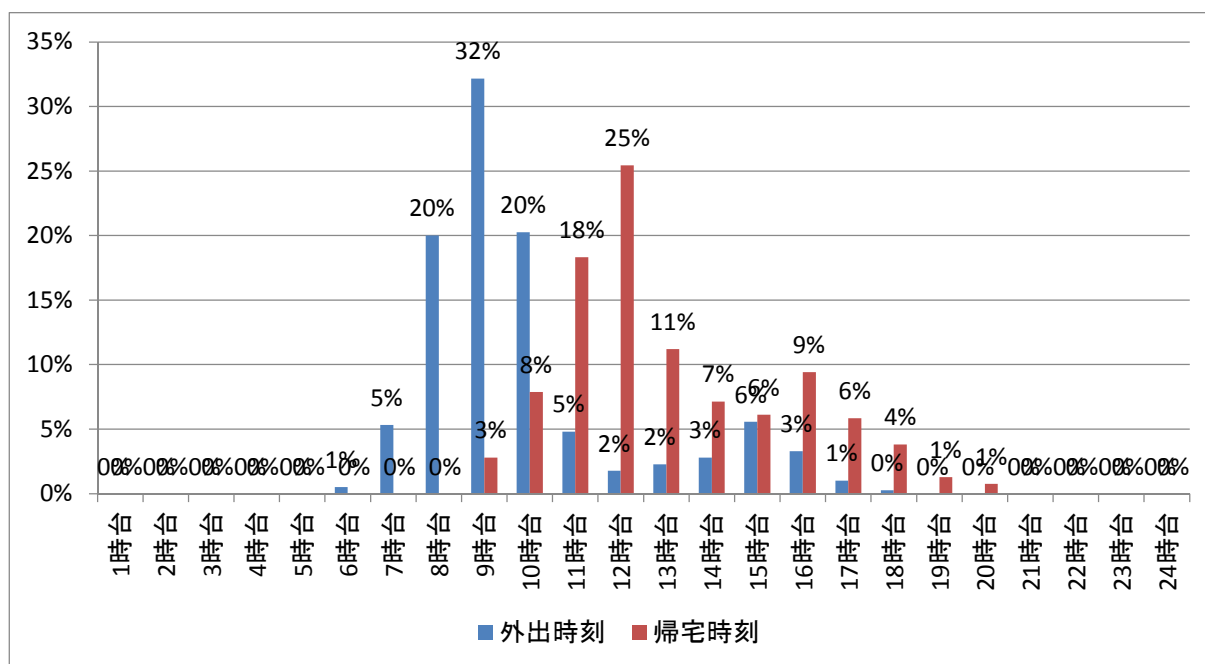
(5) 土日祝日に行く頻度

通院に土日祝日に行く頻度は、年数回が 8%である。



(6) 外出時刻・帰宅時刻

通院の外出時刻は9時台がピークで、帰宅時刻は12時台がピークである。



7. その他の移動について

(1-1) 外出先

その他の外出は、坂東市内が最も多く、守谷市や東京都への移動もある。坂東市内では岩井への移動が多い。

(1-2) 地区別の外出先

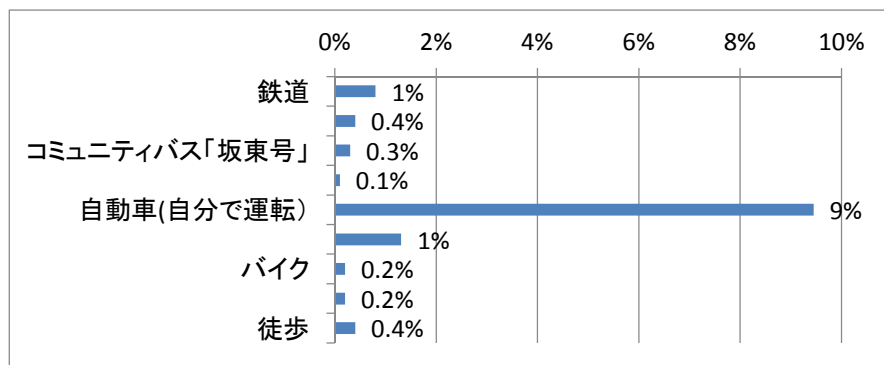
居住地区とその他の目的の外出先の関係を見ると、岩井地区内への移動、市南部の地区から岩井地区への移動、岩井地区からつくば市や守谷市への移動が多い。

(2) 外出先施設

その他の外出先施設は、岩井公民館やペルフォーレ等の公共施設が多い。

(3-1) 交通手段

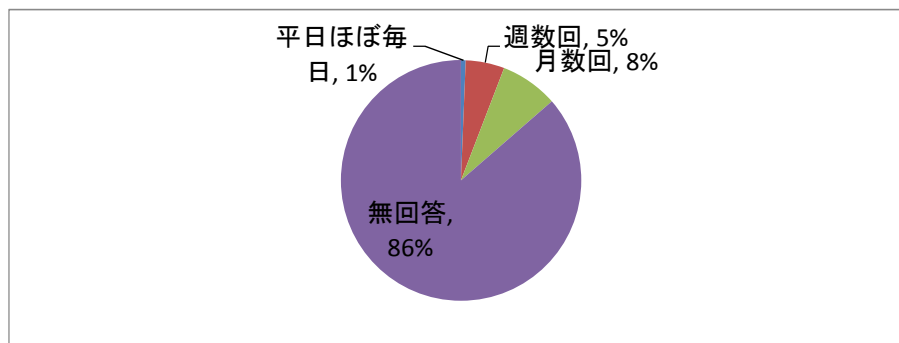
その他の外出の交通手段は、9%の人が自分で運転する自動車で移動し、1%の人が家族等の送迎で移動している。



※複数回答

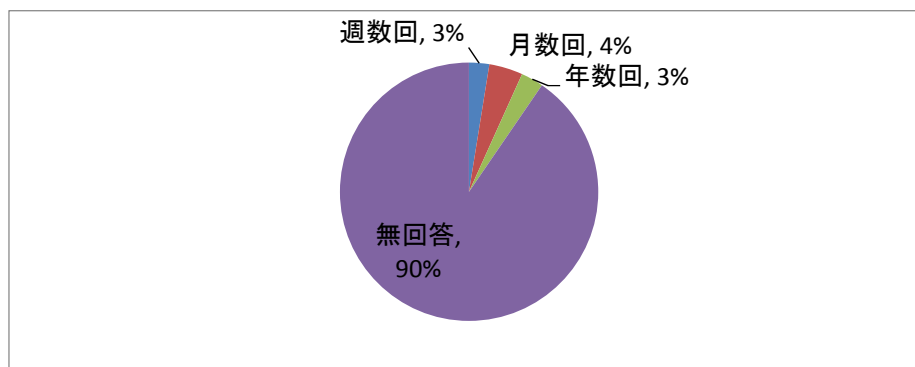
(4) 平日に行く頻度

その他の外出に平日に行く頻度は、月数回が 8%である。



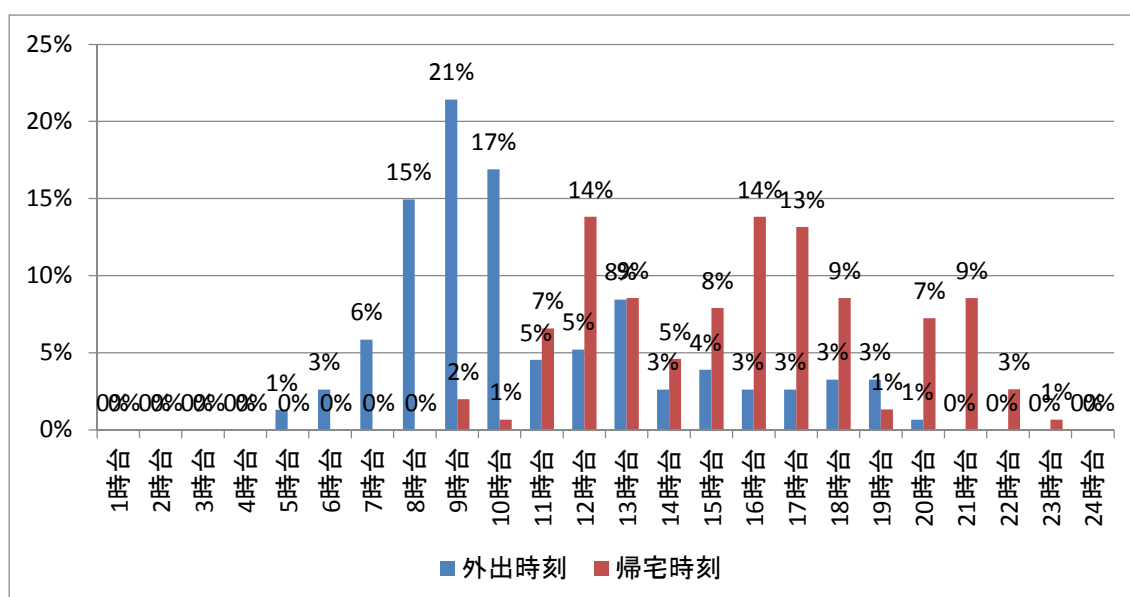
(5) 土日祝日に行く頻度

その他の外出に土日祝日に行く頻度は、月数回が 4%である。



(6) 外出時刻・帰宅時刻

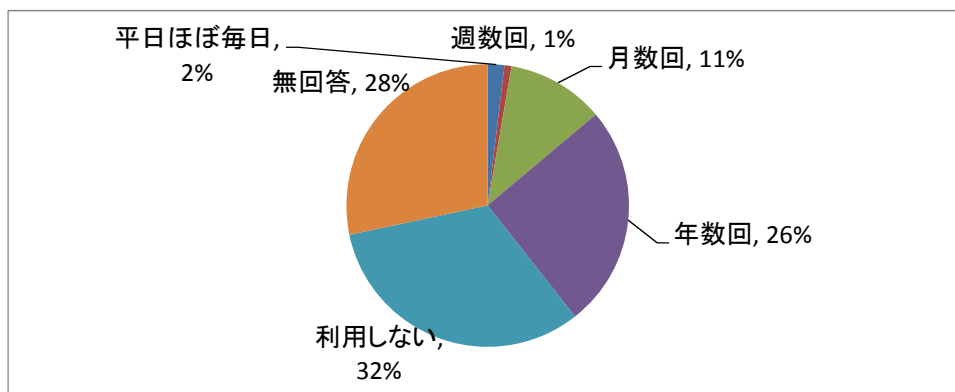
その他の外出の外出時刻は 9 時台にピークがある。帰宅時刻は分散しており、12 時台、16 時台、17 時台が比較的多い。



8.鉄道の利用について

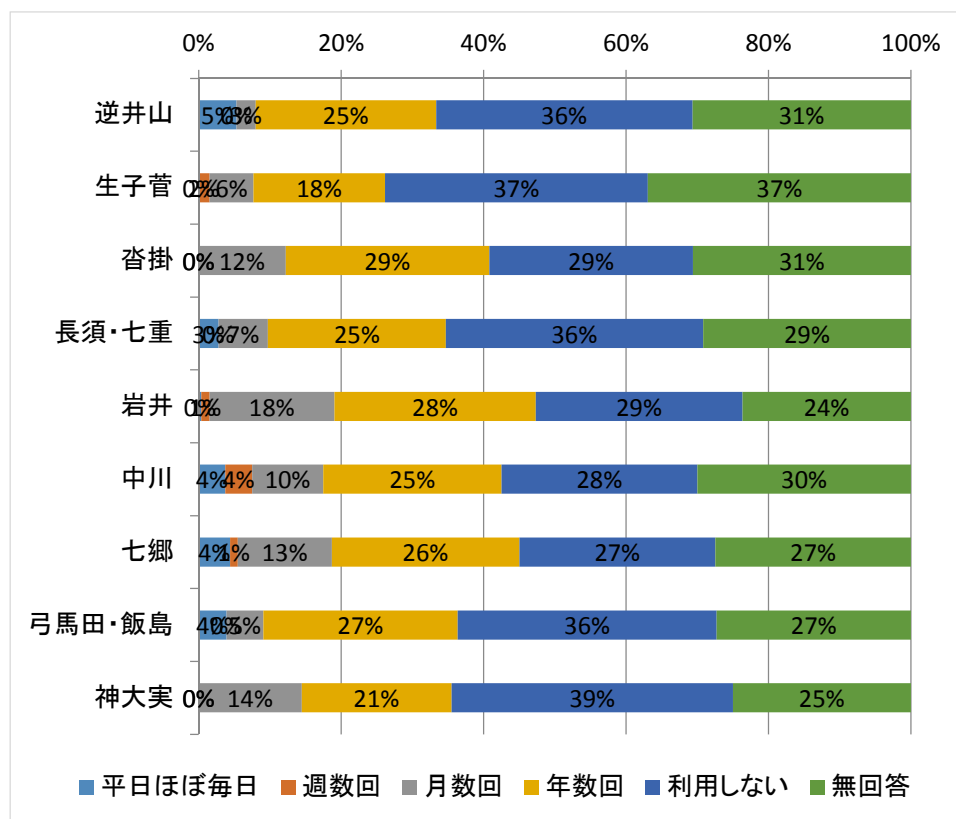
(1-1)鉄道の利用頻度

鉄道の利用頻度について、利用しない人が最も多く 32%である。平日ほぼ毎日から年数回まで、鉄道を利用すると回答したのは 40%である。



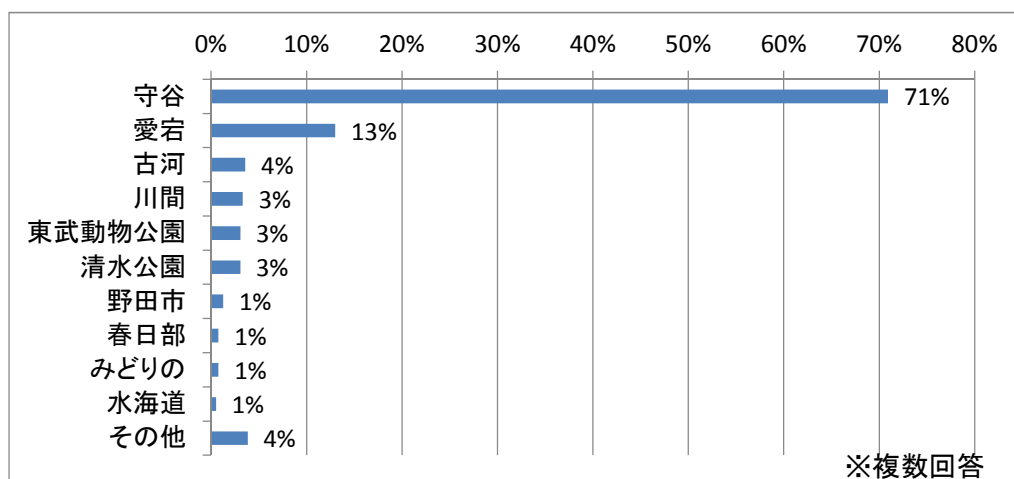
(1-2)地区別の鉄道の利用頻度

地区別に見ると、岩井地区、七郷地区、中川地区の順に、鉄道を利用する人の割合が高い。



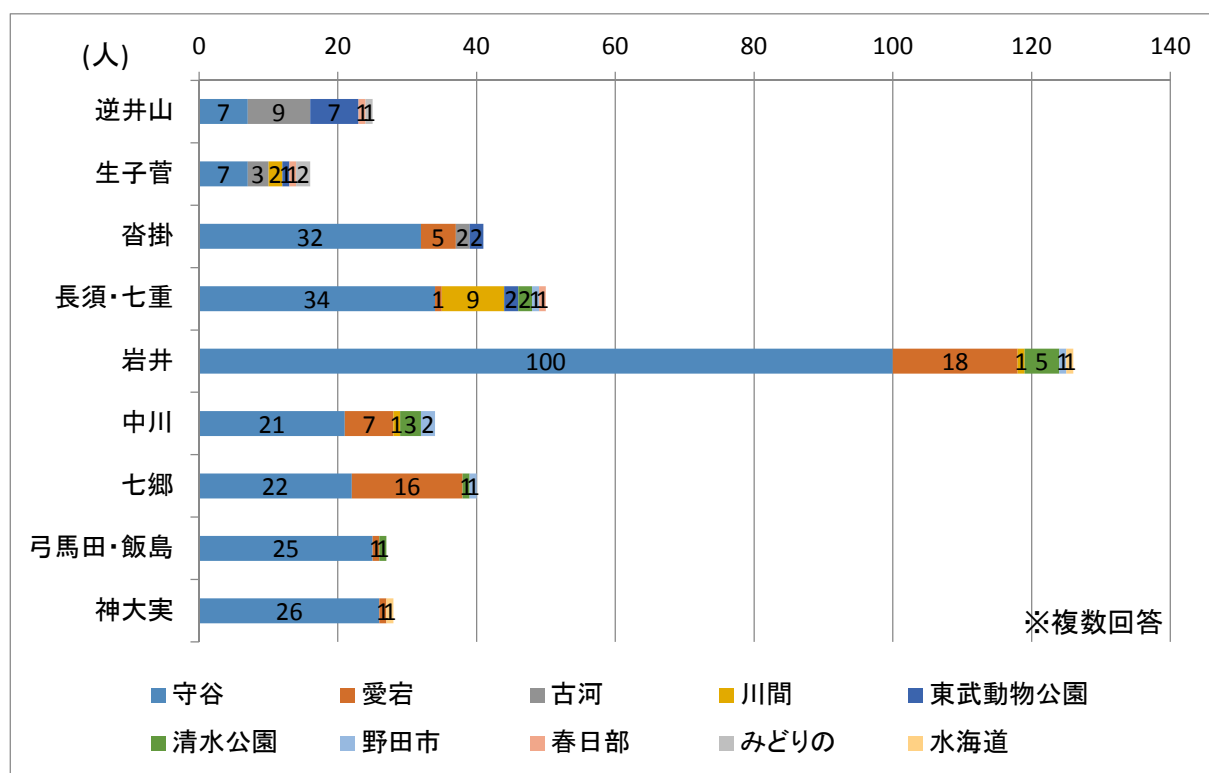
(2-1) 最も利用する駅

最も利用する駅は、守谷駅が71%で最も多い。



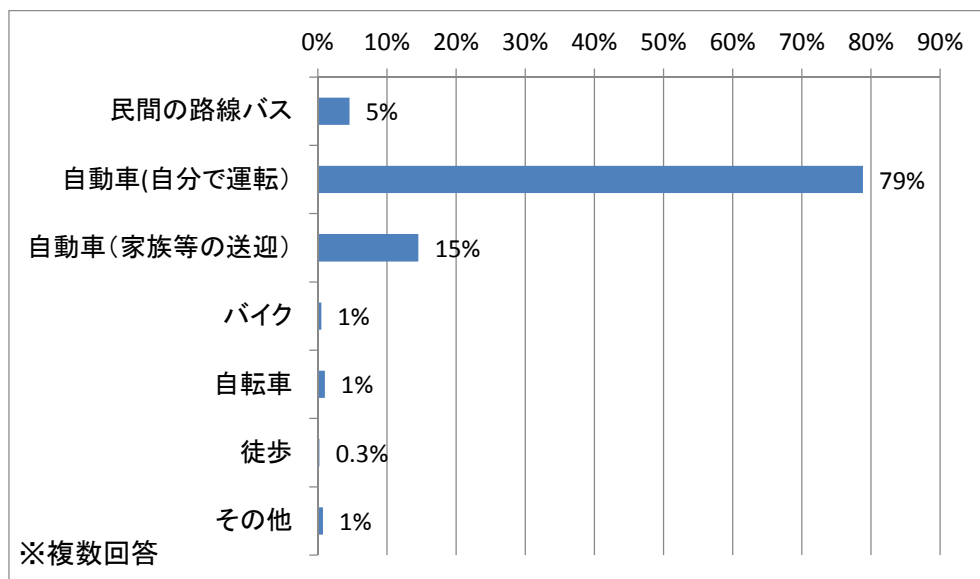
(2-2) 地区別の最も利用する駅

地区別に見ると、各地区で守谷駅は使われている。逆井山地区、生子菅地区では古河駅、沓掛地区、岩井地区、中川地区、七郷地区では愛宕駅、長須・七重地区では川間駅も使われている。



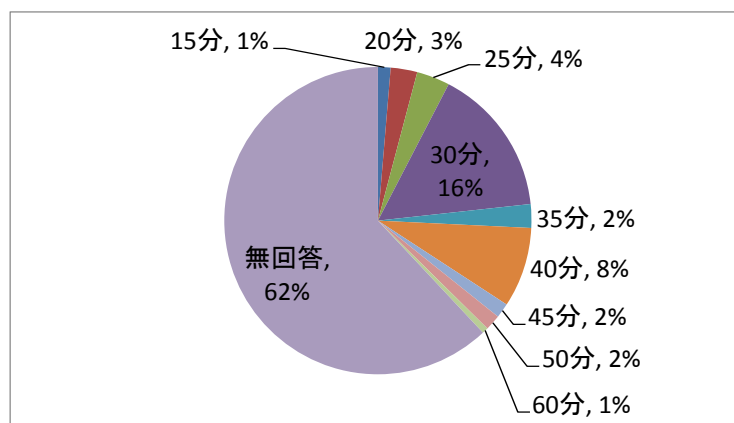
(3) 最も利用する駅までの交通手段

駅までの交通手段は、79%の人が自分で運転する自家用車である。



(4) 最も利用する駅までの所要時間

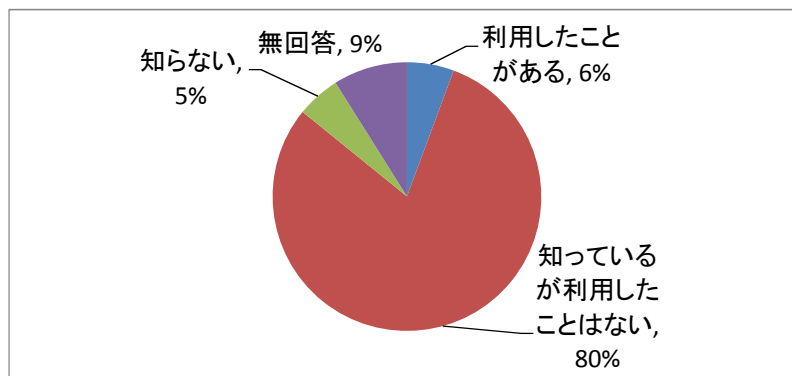
駅までの所要時間は 30 分の人が多い。



9.路線バスやコミュニティバス「坂東号」について

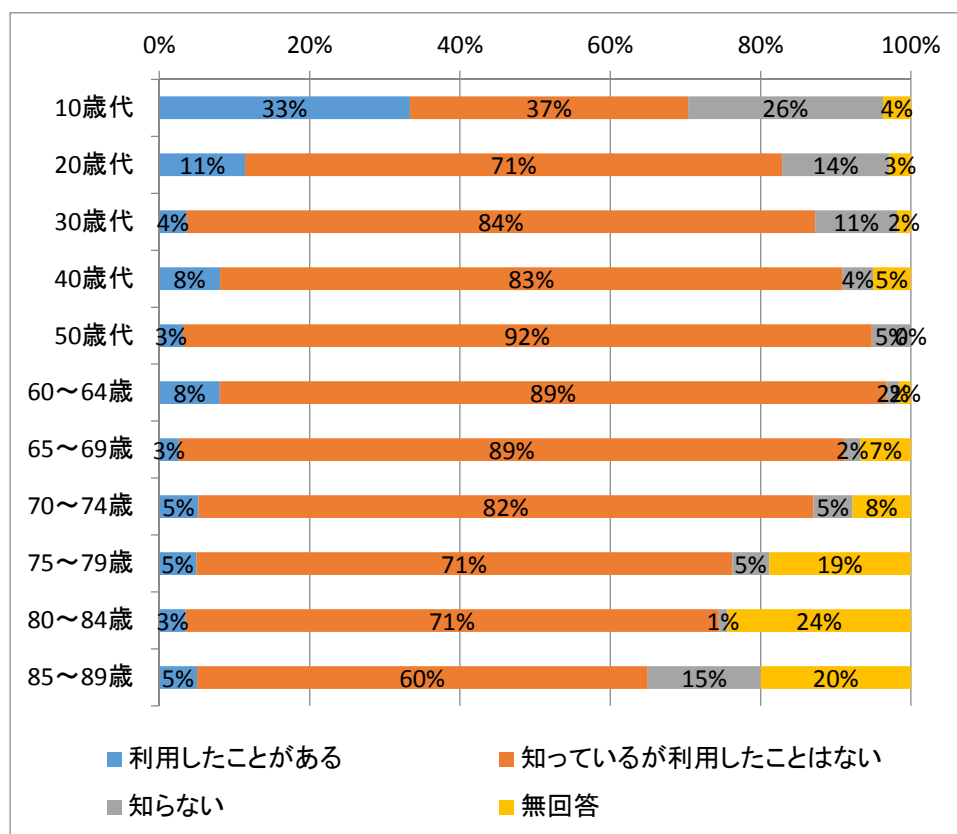
(1-1)コミュニティバス「坂東号」の認知度

コミュニティバス「坂東号」の認知度は86%である。しかし、利用したことがある人は6%である。



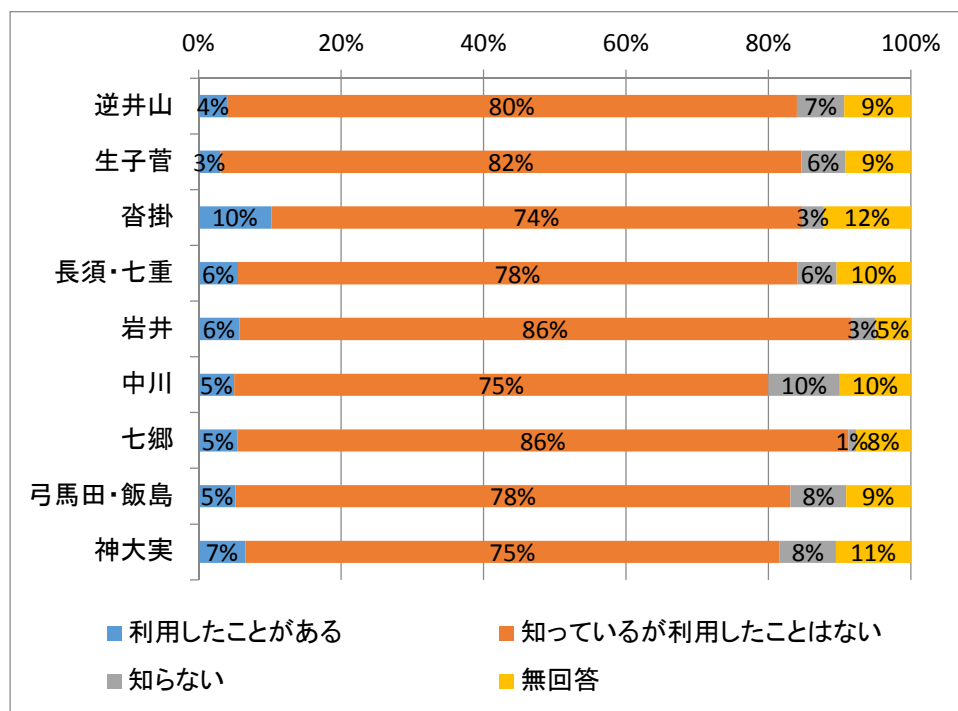
(1-2)年齢層別のコミュニティバス「坂東号」の認知度

年齢層別に見ると、60～64歳で認知度が最も高く、97%の人がコミュニティバス「坂東号」を知っている。10歳代は利用したことがある人が多い一方、知らない人も多い。



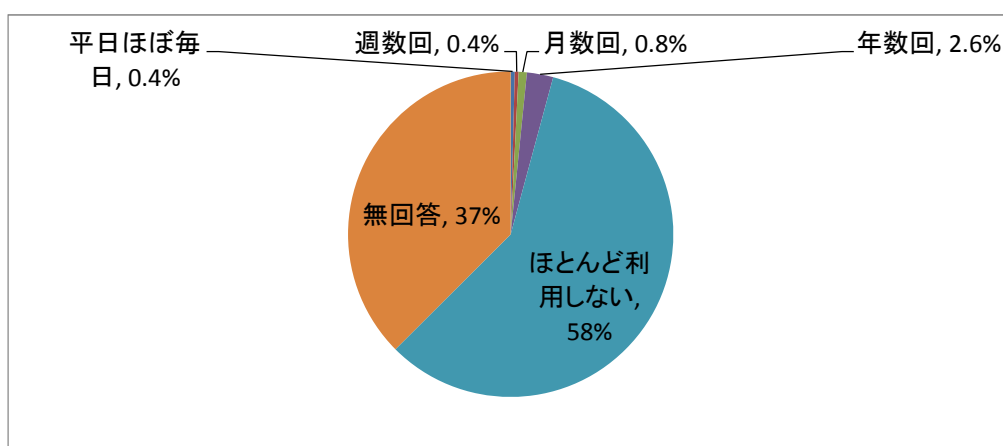
(1-3) 地区別のコミュニティバス「坂東号」の認知度

地区別に見ると、沓掛地区で利用したことがある人の割合が高い。岩井地区や七郷地区で認知度が高い。



(2-1) 民間の路線バスの利用頻度

民間の路線バスはほとんど利用しない人が 58%である。利用すると回答した人は 4.2%であった。

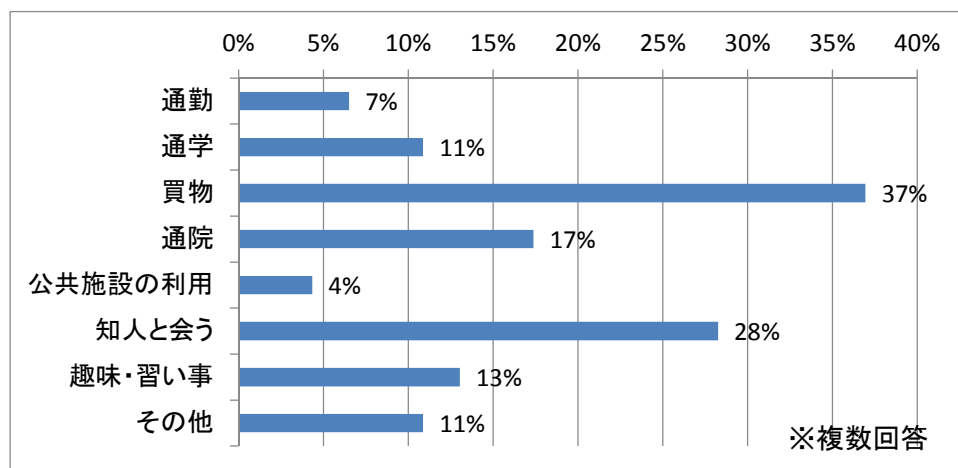


(2-2) コミュニティバス「坂東号」の利用頻度

コミュニティバス「坂東号」は利用すると回答した人が 0.5%であった。

(3)バスの利用目的

バスの利用目的は買物や知人と会うが多い。



(4-1)最も利用する乗車バス停と降車バス停

乗車バス停は辺田、岩井局前が多い。

降車バス停は愛宕駅、守谷駅、野田市駅といった駅の利用が多い。

乗車バス停	人数	割合
辺田	5人	11%
岩井局前	4人	9%
小泉	3人	7%
原口	3人	7%
辺田三叉路	3人	7%
岩井	2人	4%
グリーンランド	2人	4%
辺田並木	2人	4%
岩井車庫	1人	2%
岩井バスターミナル	1人	2%
内野山小学校	1人	2%
エコス前	1人	2%
大谷口	1人	2%
小山入口	1人	2%
神田山	1人	2%
沓掛小学校前	1人	2%
高速バス発着所	1人	2%
境車庫	1人	2%
自然博物館	1人	2%
自然博物館入口	1人	2%
清水丘診療所	1人	2%
下新田	1人	2%
東陽寺前	1人	2%
中里	1人	2%
原口北	1人	2%
目吹橋北詰	1人	2%
無回答	4人	9%
合計	46人	100%

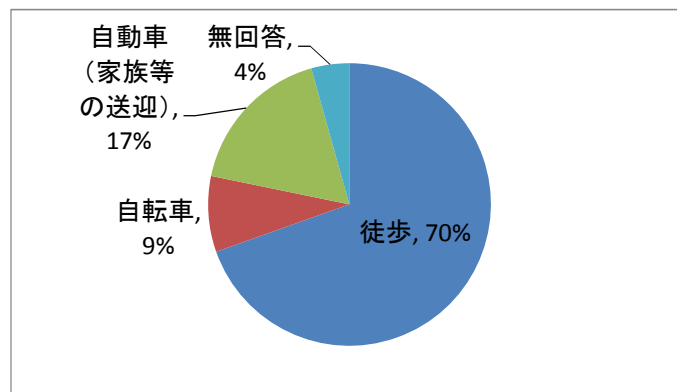
※民間の路線バス又はコミュニティバス「坂東号」を利用する人(46人)を集計

降車バス停	人数	割合
愛宕駅	17人	37%
守谷駅	6人	13%
野田市駅	4人	9%
岩井局前	2人	4%
境高校	2人	4%
愛宕駅、守谷駅	1人	2%
沓掛	1人	2%
境高校入口	1人	2%
庄屋逆井店	1人	2%
東武動物公園	1人	2%
原口	1人	2%
守谷駅、愛宕駅	1人	2%
守谷駅西口	1人	2%
無回答	7人	15%
合計	46人	100%

※民間の路線バス又はコミュニティバス「坂東号」を利用する人(46人)を集計

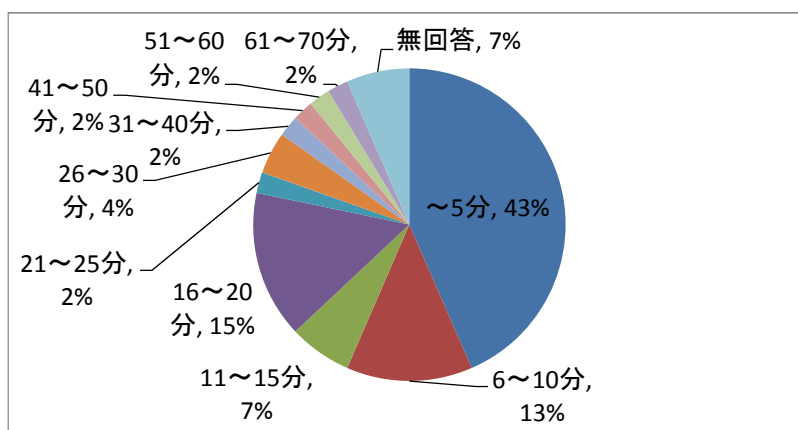
(5) 自宅から乗車するバス停までの交通手段

自宅から乗車するバス停までの交通手段は、徒歩が 70%である。家族等の送迎で移動する人も 17% いる。



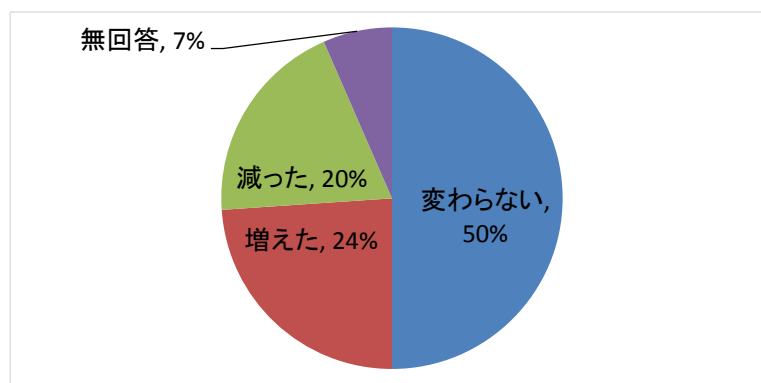
(6) 自宅から乗車するバス停までの徒歩での所要時間

自宅からバス停までの徒歩での所要時間は 5 分以内の人が 43%である。



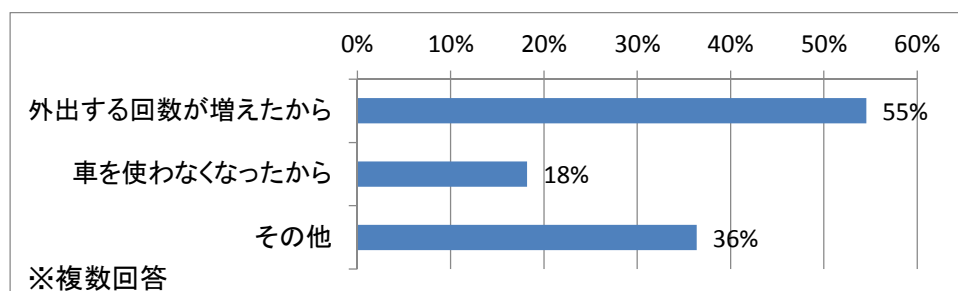
(7) 過去 1 年間のバスの利用頻度の変化の状況

過去 1 年間のバスの利用頻度の変化の状況は変わらない人が 50%である。増えた人が 24%に対し、減った人が 20%であり、増えた人の方が多い。



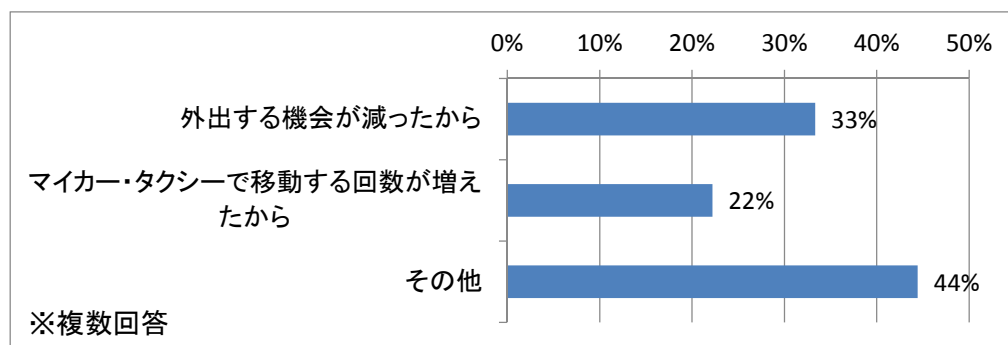
(8-1) バスの利用頻度が増えた人の変化の理由

バスの利用頻度が増えた人の変化の理由は、外出する回数が増えたからが最も多い。外出機会の増減がバスの利用頻度に影響を及ぼしている。



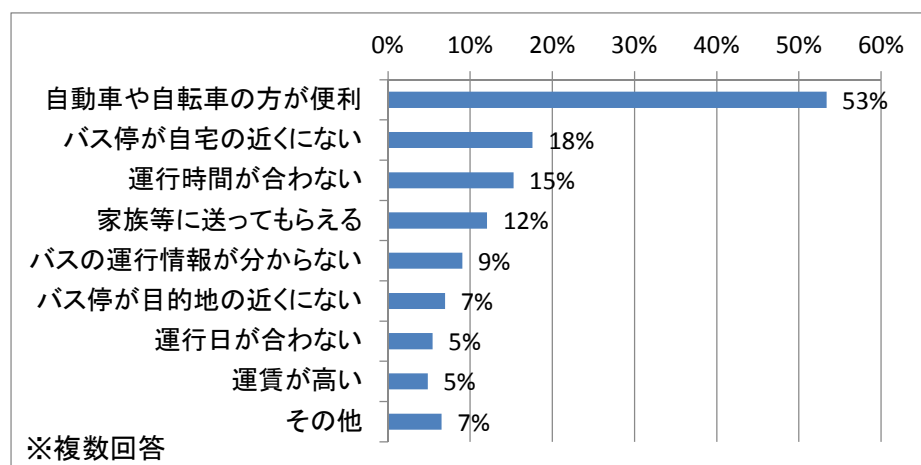
(8-2) バスの利用頻度が減った人の変化の理由

バスの利用頻度が減った人の変化の理由は、外出する機会が減ったからが最も多い。外出機会の増減がバスの利用頻度に影響を及ぼしている。



(9) バスを利用しない理由

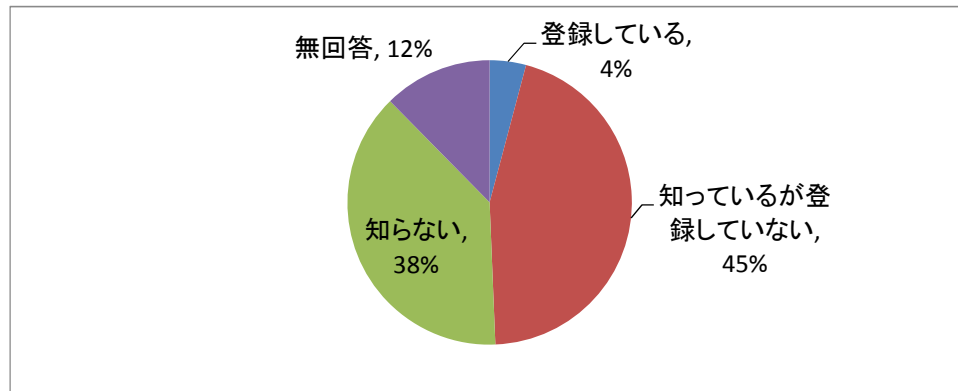
バスを利用しない理由は、自動車や自転車の方が便利であるためが 53%で、最も多い。



10.坂東市デマンドタクシー「らくらく」について

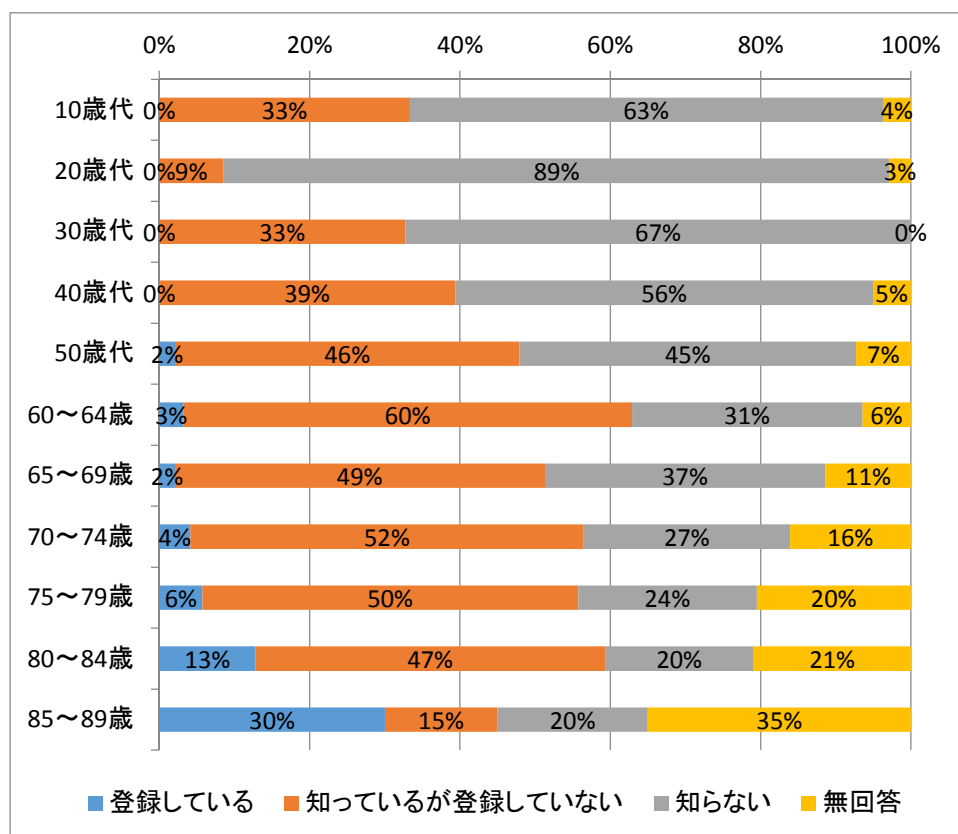
(1-1) デマンドタクシー「らくらく」の認知度

デマンドタクシー「らくらく」の認知度は 49%である。しかし、登録している人は 4%にとどまっている。



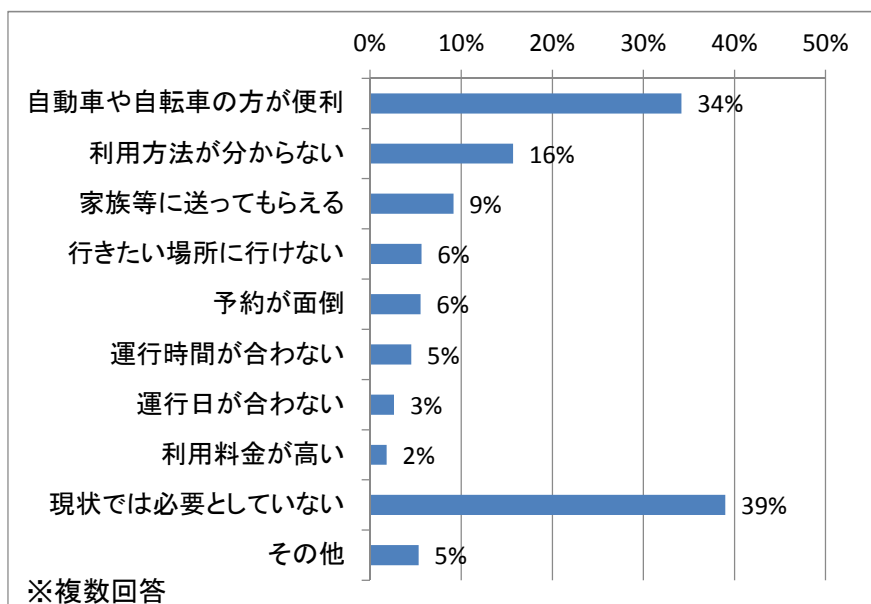
(1-2) 年齢層別のデマンドタクシー「らくらく」の認知度

年齢層別に見ると、年齢が上がるにつれて登録している人の割合が高くなり、85～89 歳では登録している人が 30%である。



(2) デマンドタクシー「らくらく」を利用しない理由

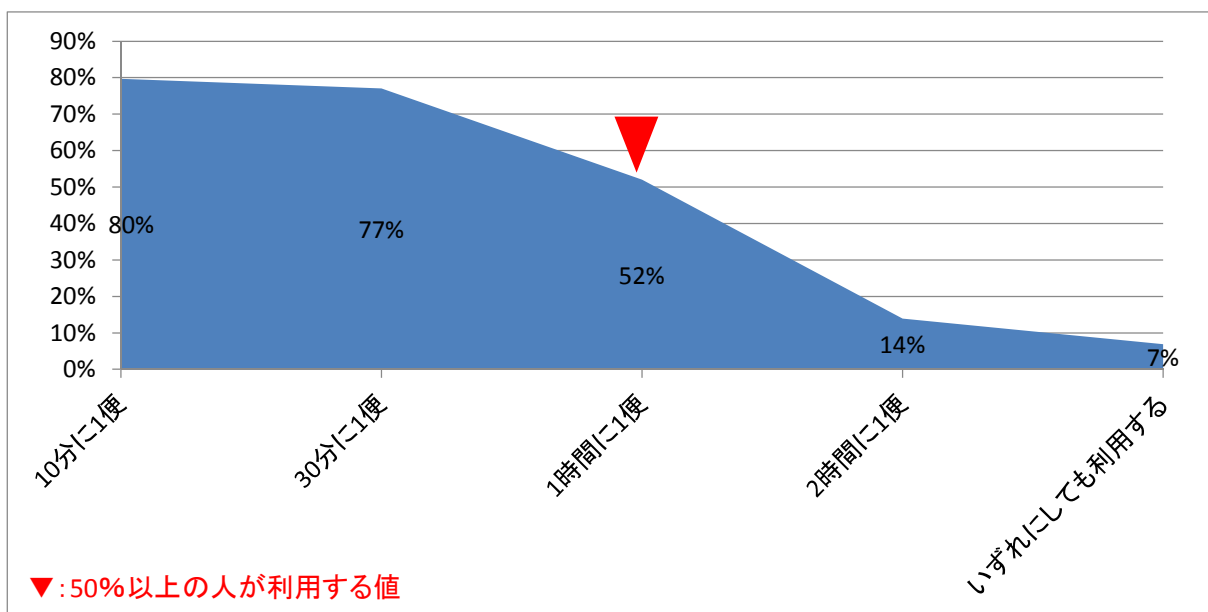
デマンドタクシー「らくらく」を利用しない理由は、現状では必要としていないが 39%、自動車や自転車の方が便利であるためが 34%である。



11. バスの利用条件について

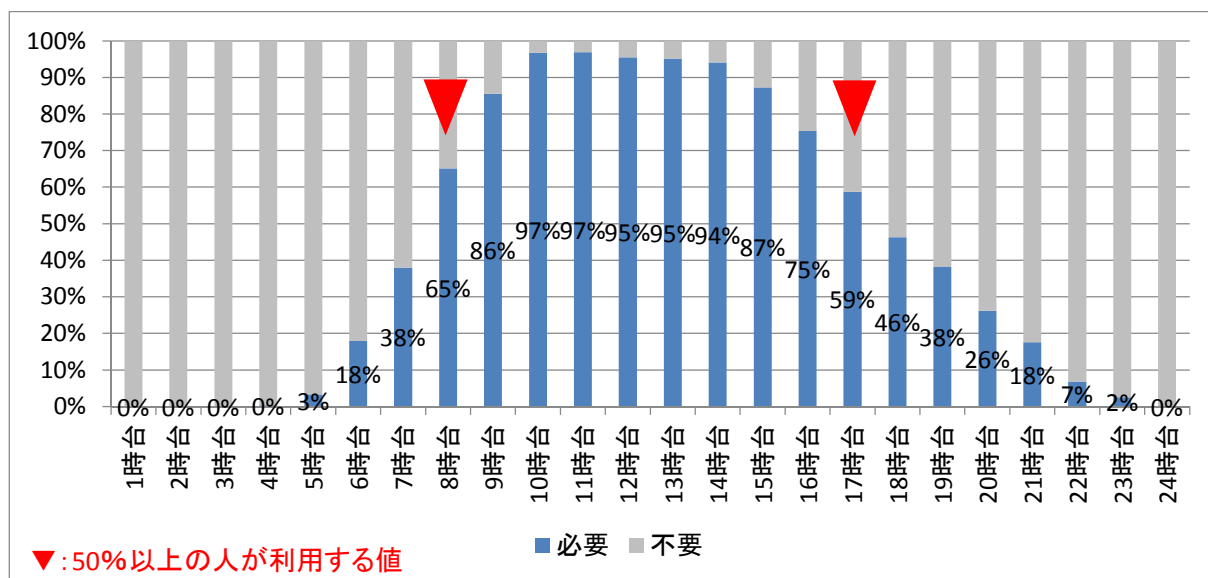
(1) 最低限必要な運行間隔

10 分に 1 便の運行間隔の場合 80%の人が利用する。1 時間に 1 便の場合 52%の人が利用する。2 時間に 1 便の場合は 14%の人しか利用しない。



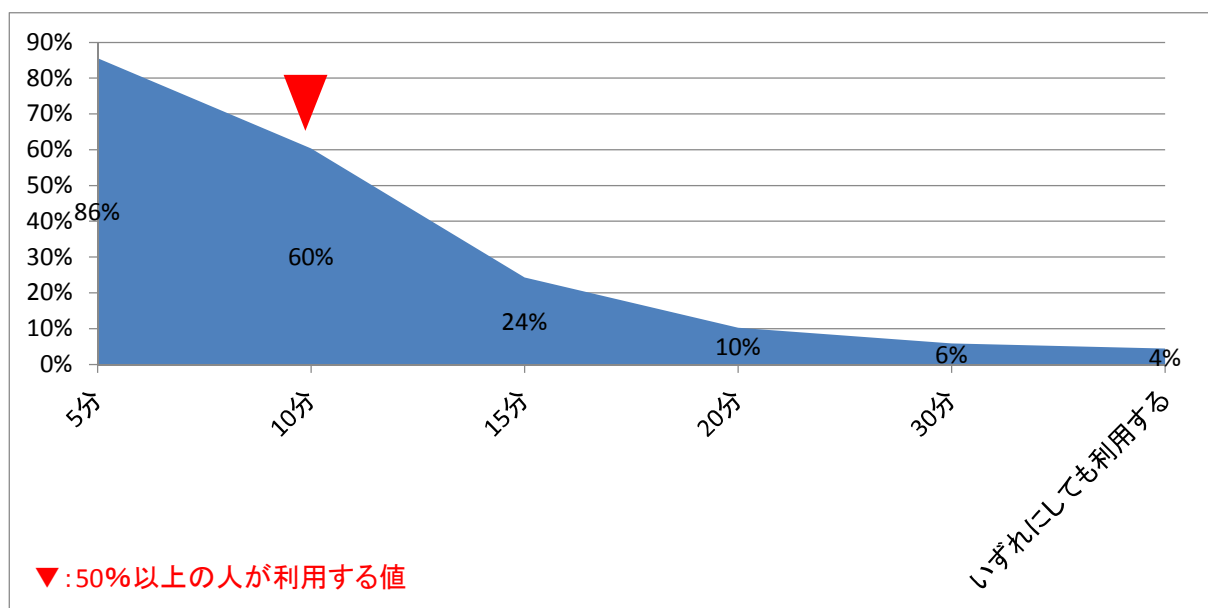
(2) 最低限必要な運行時間帯

運行時間帯について、10 時台から 14 時台は 90%以上の人が必要と考えている。50%以上の人が必要としているのは 8 時台から 17 時台である。



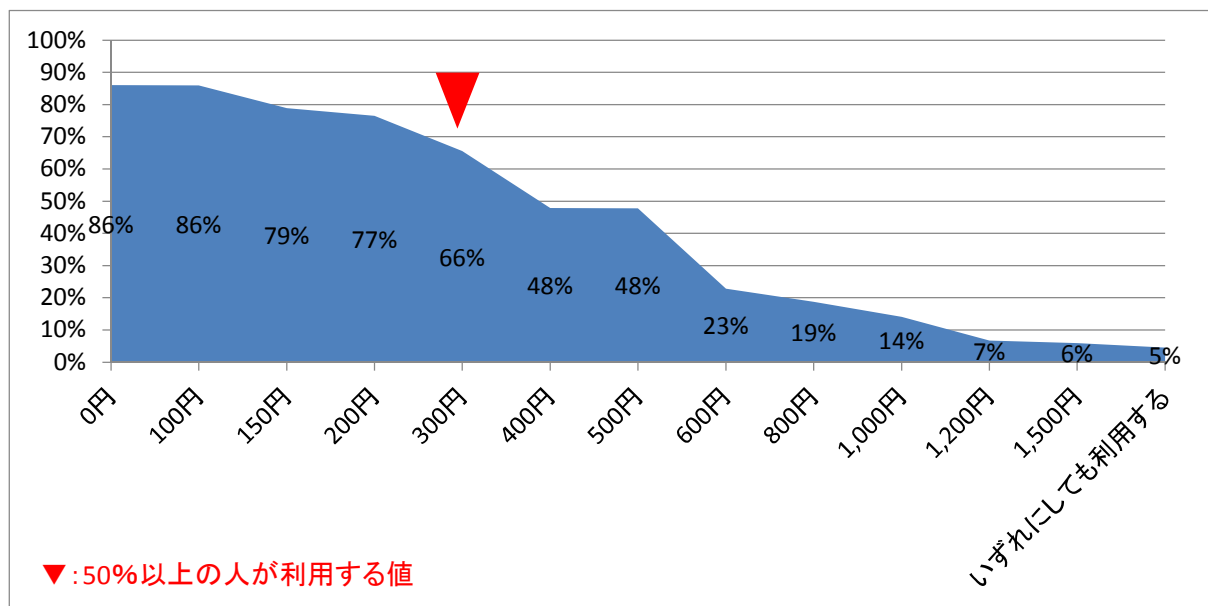
(3) バス停までの徒歩時間の限度

バス停まで 10 分以内だと 60%の人が利用する。



(4) 片道の運賃の限度額

片道の運賃は 300 円だと 66%の人が利用する。



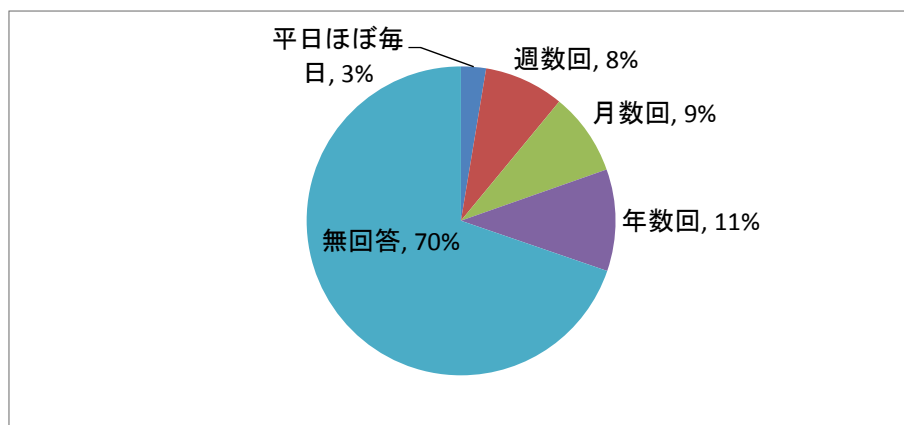
(5) バスが通った場合にバスで行きたい場所・施設

バスが通った場合にバスで行きたい場所は、病院が最も多く、次に、守谷駅、スーパーが多い。

12. 家族等の送迎について

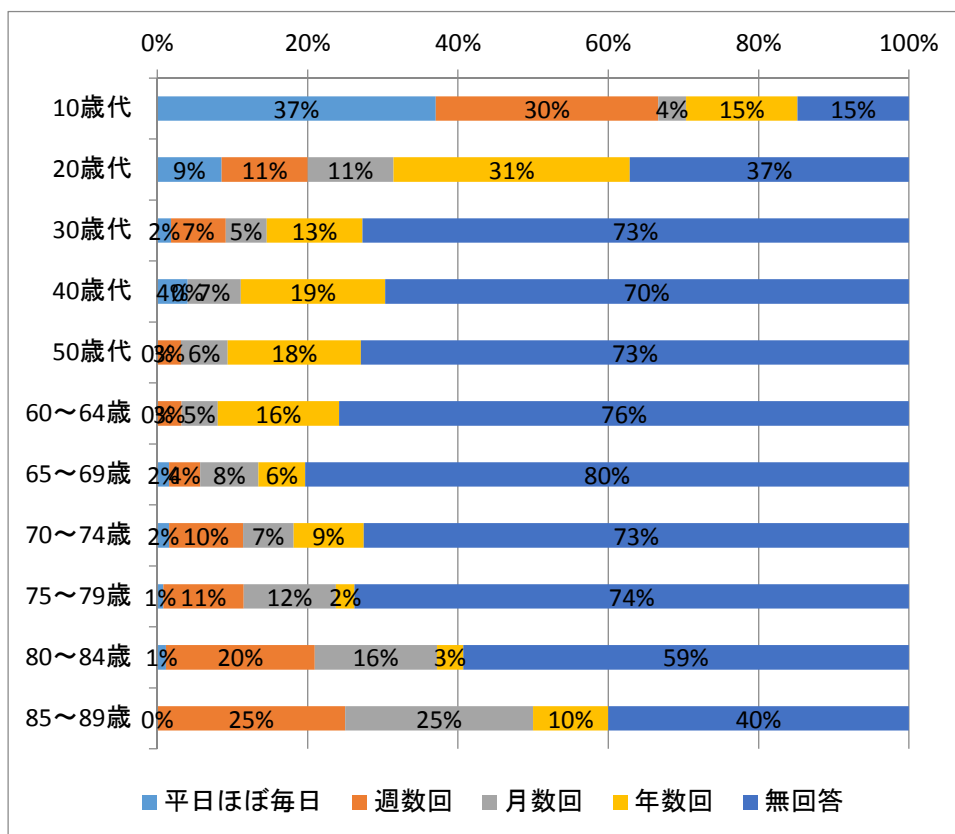
(1-1) 家族等に送迎してもらう頻度

家族等に送迎してもらうことがある人は約 3 割である。家族等に送迎してもらう頻度は、年数回が最も多い。



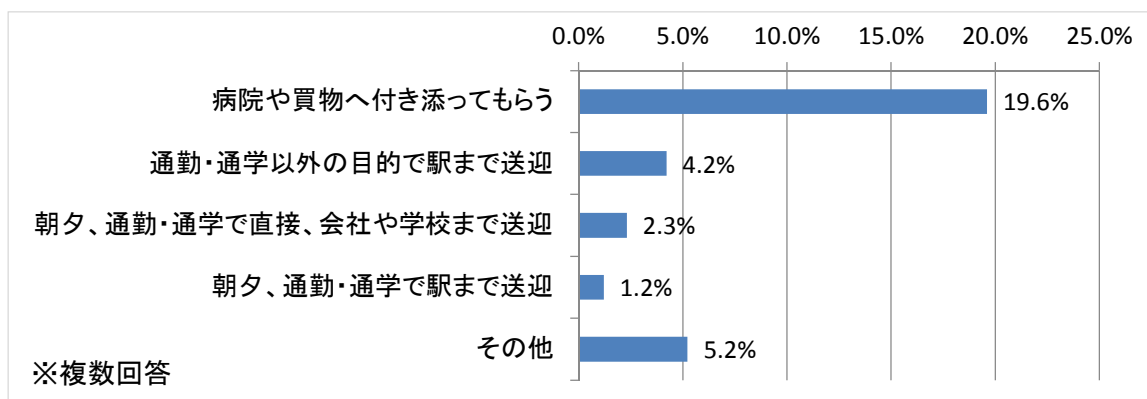
(1-2) 年齢層別の家族等に送迎してもらう頻度

年齢層別に家族等に送迎してもらうことがある人を見ると、10～20 歳代が多い。また、65 歳以上は年齢が上がるにつれて送迎してもらうことがある人の割合と頻度が増える傾向がある。



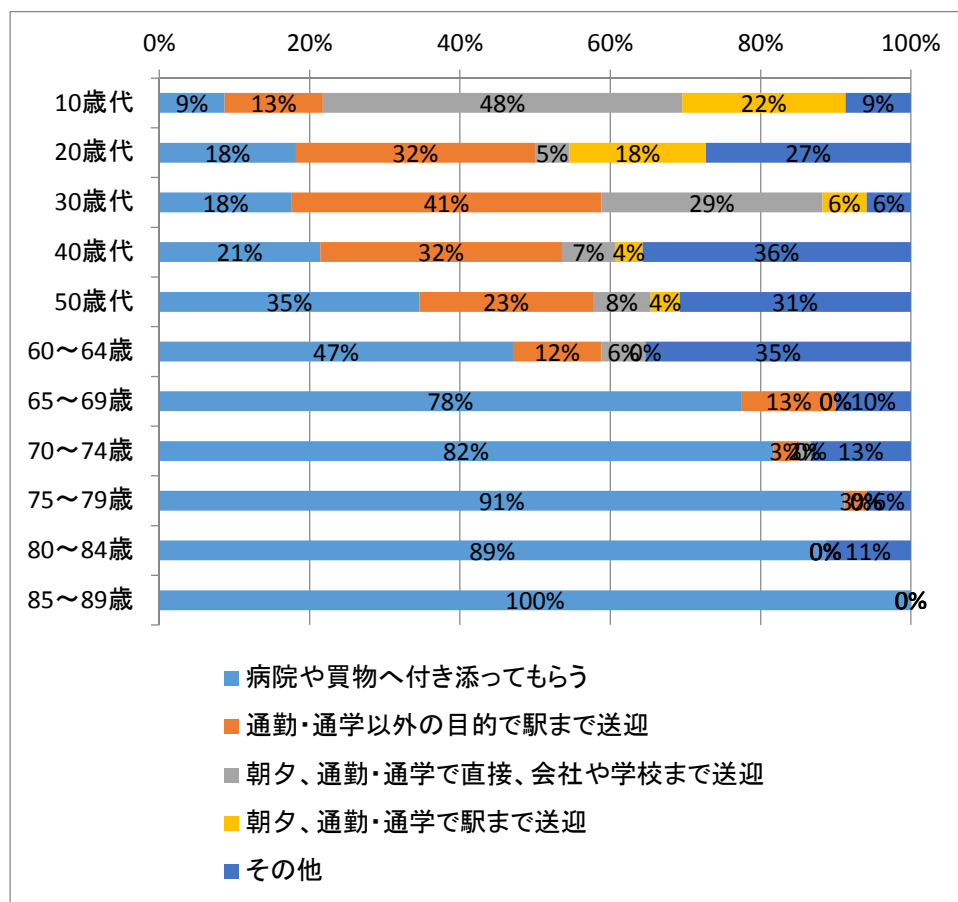
(2)送迎の主な目的

送迎の主な目的は、病院や買い物に付き添ってもらが多い。



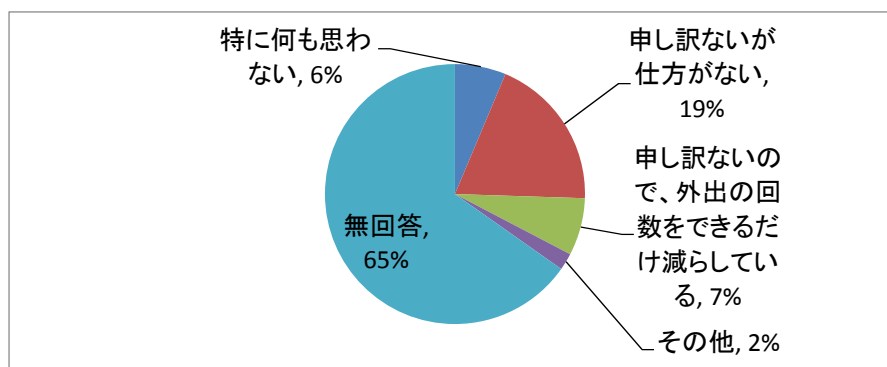
(2) 年齢層別の送迎の主な目的

年齢層別の送迎の主な目的は、10 歳代は直接会社や学校まで送迎が多い。20～40 歳代は通勤・通学以外の目的で駅まで送迎が多い。50 歳代以上は病院や買い物に付き添ってもらうが多い。



(3) 送迎してもらうことについての思い

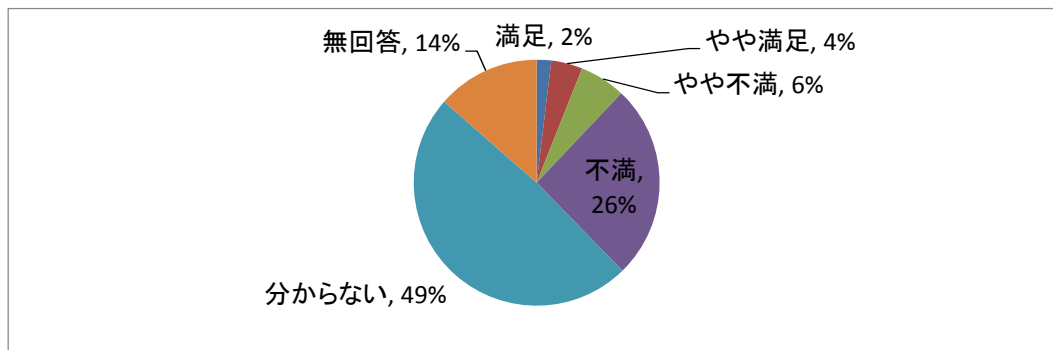
送迎してもらうことについて、申し訳ないが仕方がない考える人が 19%で最も多い。申し訳ないので、外出の回数をできるだけ減らしている人も 7%いる。



13.坂東市の公共交通についての思い

(1-1)現在の坂東市の公共交通の満足度

坂東市の公共交通の満足度は、満足、やや満足を含わせて 6%であり、非常に低い。やや不満、不満に思っている人は 32%であり、分からない人が 49%と非常に多い。



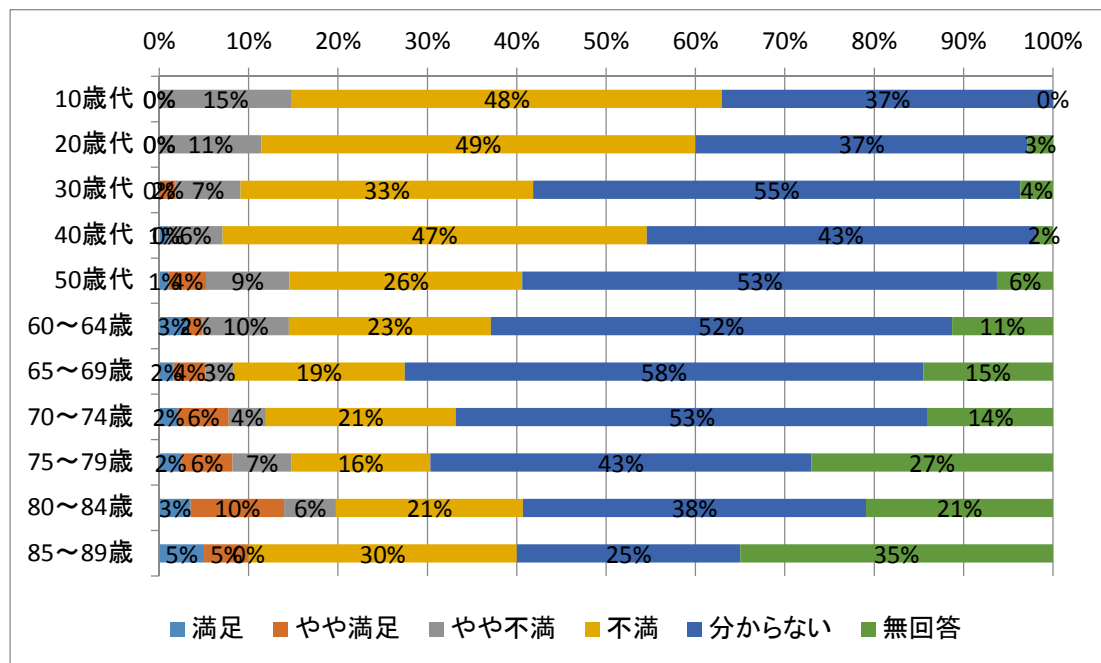
現在の満足度	理由	人数
満足	バスが何本か運行している	1人
	飲み会時しか利用しないが、呼べばすぐに来るので	1人
	妻がお世話になっているので	1人
	車の運転が出来なく、送迎もしてもらえない人もいる為には必要	1人
	現在には必要としていないが、免許返納後は必ず必要とする	1人
	近くにバス停なし。市外の病院へ行けない	1人
	使用していないため不満がない	1人
やや満足	最寄駅行きのバスがあるので満足。東京駅行きのバスがなくなってしまったのが残念。	1人
	利用する人が少なくては仕方ないが、回数を増やした方がよい	1人
	もう1～2回増やしてもらえればもっと利用したい	1人
	坂東号は来ないが、路線バス（昭和）が走っている	1人
	高齢者や耳の遠いドライバー。大声で自分の話を一方的に話す人、返事を返さない人	1人
	現状バスやタクシーの利用が極めて少ないので、判断に迷いがある	1人
	今は自走できるから	1人
やや不満	本数が少ない	4人
	乗車人数が少なく、経費の無駄	2人
	1時間に1本しかない	1人
	30分に1便	1人
	行きたい場所へ行くことができない	1人
	必要な所への交通網がいまいち	1人
	自家用車が無いと市役所、市内へ気軽に行くことが難しいから	1人
	希望する行先にバスが無い。運行頻度が少ない	1人
	本数やルートが少ない	1人
	家族が東京にいるので行きたいが、鉄道が無く不便	1人
	鉄道へのアクセスが不便	1人
	実家へ帰るときに守谷までバスで行ったが、帰りに連絡がうまくいかず苦労した	1人
	乗りたい時間帯にバスが運行していない。	1人
	バス停	1人
	バス停まで遠い。駅がない	1人
	バスの本数が少ない。終了時間が早い	1人
	バスはあちこち回るので時間がかかる。タクシーは面倒くさい	1人
	台数が少ないから	1人
	タクシーが早い時間で終わってしまう	1人
	タクシーは値段が高い。バスは本数が少なく、目的の所に行かない	1人
	電話したが対応まで時間がかかった	1人
	自宅前等近くで乗降ができると良い	1人
	運転者によっては荷物の多い時に手伝ってくれないこと	1人
	運転が出来るのでわからない	1人

現在の満足度		理由	人数
不満	全体	ない・少ない	4人
		駅までの利用に不便を感じる	4人
		不便	4人
		バス・タクシー利用が不便で使えない	1人
		公共機関少なく、需要もないか？人口も減ありか？	1人
		高齢者、学生等の交通手段がほぼないに等しい	1人
		電車もないド田舎なのに、公共交通も最悪で市の職員ですら坂東市から出ていく	1人
		あまりにもアクセスが悪すぎる。山の中でも鉄道が通っているのに。	1人
		欲を言ったらきりがないが、常に考えて国内の平均にしたい	1人
		不安	1人
	鉄道	鉄道がほしい	4人
	運行本数	運行便数が少ない	12人
		運行便数が少ない、運賃が高い	5人
		守谷行きのバスの本数が少なすぎる	2人
		運行回数が少ない。タクシーの数が少ない	1人
		運行本数や目的地等が少ない	1人
		守谷、愛宕駅までの本数が少なすぎる	1人
		本数が少なく、駅がない	1人
		学生が休みになるとバスが走らない	1人
		通行ルート、時間を見てもないのと同じ	1人
		バスの本数が少ない。タクシーは高いし走っていない	1人
		バスの本数が少なく、金額が高い。タクシーは金額が高い	1人
		料金が安い、便数が少ない、タクシー台数が少ない	1人
		バスの本数が減り利用する人が減ると更にバスの本数が減り不便	1人
	運行間隔	1時間に1本では使えない	1人
		運行間隔が長い	1人
	ルート	近くにバス停がない	13人
		バス停までが遠く、本数が少ない	5人
		公共交通の路線の中に入っていない	3人
		東京行き高速バスがなくなった	3人
		神大実地区のルートがない	2人
		猿島地区には駅に向かうバスがない。	2人
		野田市、水海道市への交通機関が減少してしまったこと	1人
		岩井・水海道間が無い	1人
		水海道行バスが無くなり守谷行きに。バス代が高い。運行時間に合わない	1人
		水海道までの通学バスがなく、送迎が大変	1人
		行先が少ない	1人
		東京駅行やJRの最寄駅が必要	1人
		本数が少ない。東京への直行便がなくなった	1人
		東京行きの高速バスがなくなり不便。守谷駅行きも本数が少ない	1人
		旧岩井市内のみ充実、高齢者が猿島支所に行く手段が皆無	1人
		常総市行きのバスが無い。タクシー料金が安い	1人
		自宅近くを通らない。便が少ない	1人
		使ってない事もあるが方向性の連絡が分かりにくい。バス停も必要とする所にあるか	1人
		バス停が少ない	1人
		バス停が遠い。運行本数が少ない。終バス時間が早い	1人
		バス停が遠い。どこでも乗降できるようにしてほしい	1人
		市外へ出るのが不便	1人
		市外への通院に対応できてない。コミバスの路線が自宅からかなり外れている	1人
		バス停まで遠い。料金が不明	1人
		病院への送迎バスがあると良い	1人

現在の満足度		理由	人数
不満	料金	料金が高い	3人
		T×守谷への料金が高すぎる	1人
		運賃が高い、本数が少ない、終バスが早い	1人
		駅まで遠くバス代が高すぎる	1人
		運賃が高すぎる（特にタクシーは）	1人
		高齢化社会に必要な、利用者のための利便性、安い料金等に工夫して貰いたいから	1人
		タクシーは高くなる。バス停まで遠いのと本数がない。	1人
		日曜、祭日に運行していない。目的地までがない	1人
		バスがなくなり困っている。年金生活の為タクシーは料金に不満	1人
	運行時間帯	時間が合わない	5人
		時刻表で走るバスは利用したい時に出来ない	2人
		最終便の時間が早い	2人
		タクシーが遅い時間がない	1人
		休日のバスがない。高速バスがない。タクシーが早く終わってしまう。	1人
		毎日乗る人がいなくても運行すべき。他の場所でも乗る人もいる。	1人
		守谷駅から坂東までの終バスが早い。運賃が高い	1人
		市内に駅がなく、最寄駅まで希望時間帯に利用できるバスが無い	1人
	待合環境	バス停に屋根がなく、雨の日に困る。	1人
	所要時間	急用の時に間に合わない	1人
		坂東号は時間がかかりすぎて、買物、病院など一日がかり	1人
	利用方法	予約で定期時間が良い	1人
	タクシー	タクシー会社が遠い	1人
	情報	坂東号やデマンドタクシーの利用方法がわからない	2人
		バスに関しての情報不足。家の前にコミュニティバスが来るのを見たことない	1人
	利用者数	バスに乗っている人が少ない。バスはいらないと思います。ただ動いているだけ	1人
		利用者が少ない	1人
	その他	車を運転する	2人
		私自身はまだ運転できるから良いが、高齢者は不慣	1人
		高齢になると交通手段があっても乗れないのではないかと思います	1人
		商業地域で全てがそろわないので、他地域に行く必要がある	1人
		税金の無駄遣い	1人
		必要性を感じない	1人
		利用するバスがないため	1人
わからない		利用しない・したことがないから	102人
		自家用車を利用するため	25人
		近くにバス停がない	4人
		利用を考えたことがない為	4人
		今は自分で移動できるから	2人
		子供の車で外出できるから	1人
		体が不自由なため	1人
		30年前は母が入院したのでタクシーを利用（筑波大）高かったので免許をとった	1人
		東京の友達が坂東市は交通が不便で帰れないと言っている	1人
		バスやタクシーを利用している人を見るが、待ち時間が退屈そう。	1人
		坂東号を見かけるが、殆ど乗っていない。現在の運行はニーズに合っていない。	1人
		便数が少なく使えない	1人
		車に乗れない方や高齢者の方にとっては便利だと思う	1人
無回答		利用していない	4人
		バス停が遠い	3人
		自車があるため	1人
		高いので乗らないようにしている。徒歩で頑張っています	1人
		坂東市には駅がなく、鉄道があればいいと思う	1人
		利用していないが先崎の事を考えると必要性あり	1人
		不便を感じていない	1人

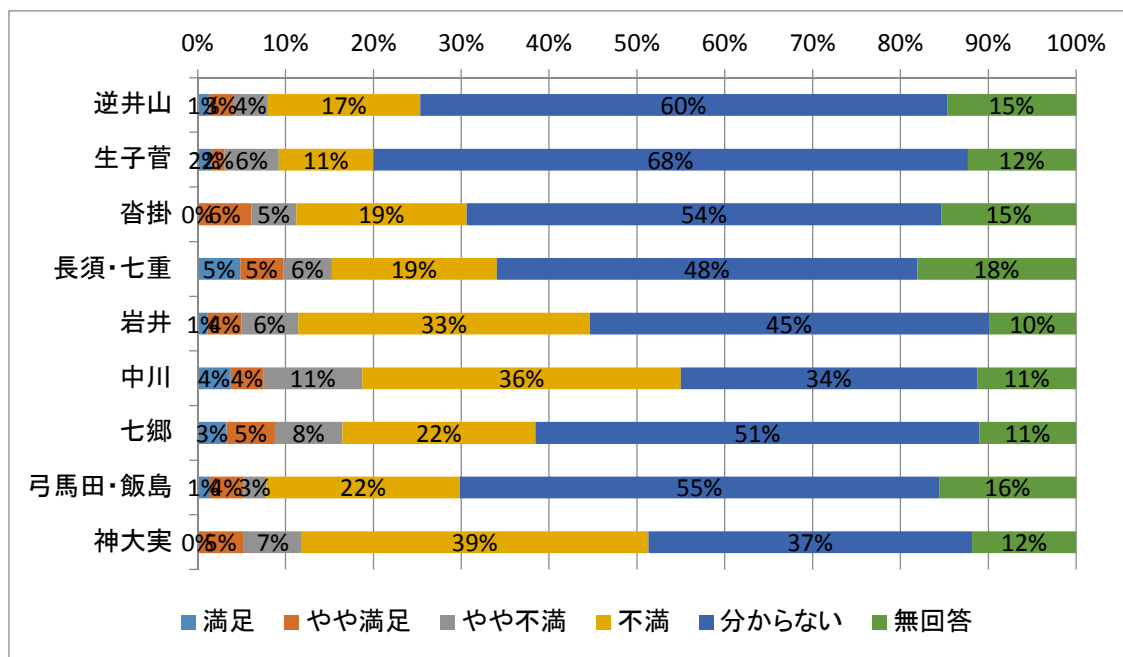
(1-2) 年齢層別の現在の坂東市の公共交通の満足度

年齢層別に見ると、満足、やや満足している人は 50 歳以上に多く、若年層は不満、やや不満と感じている割合が高い。分からないと回答している人が、30 歳代、50～74 歳で半数を超えており、公共交通への関心の低さが表れている。



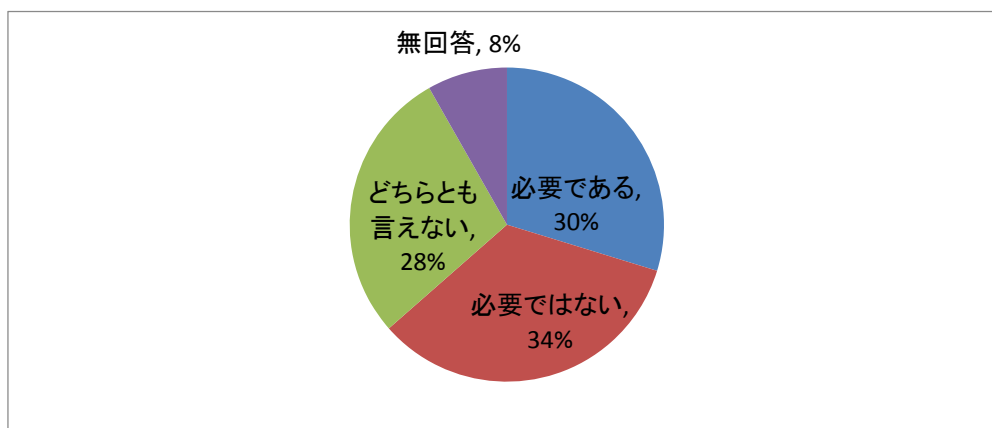
(1-3) 地区別の現在の坂東市の公共交通の満足度

地区別に見ると、中川地区、神大実地区で不満、やや不満と回答している人が約 5 割であり、多い。



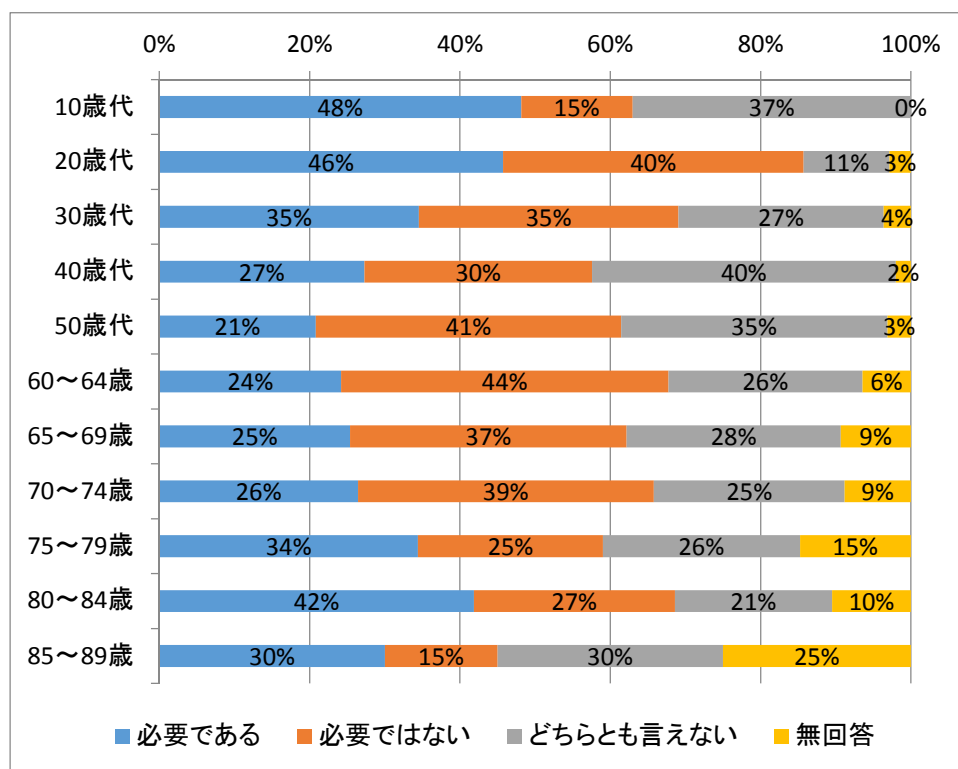
(2-1) 現在の公共交通の必要性

現在公共交通を必要としている人は 30%、必要ではない人が 34%である。



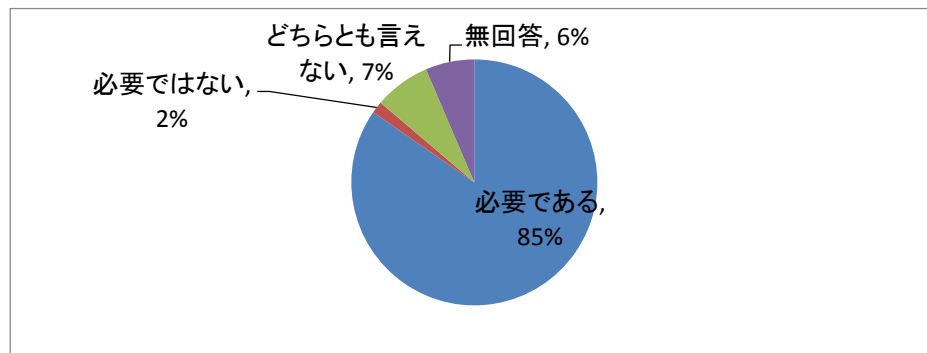
(2-2) 年齢層別の現在の公共交通の必要性

年齢層別に見ると、10～20 歳代で約 5 割、30 歳代と 80～84 歳で約 4 割が公共交通を必要としている。



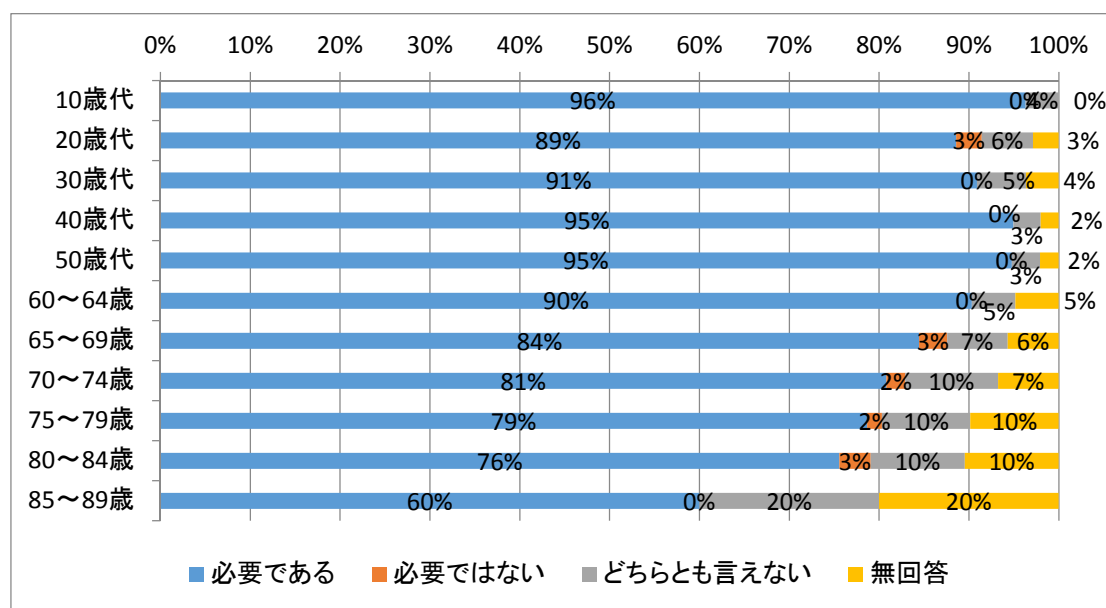
(3-1) 将来の坂東市にとっての公共交通の必要性

将来の坂東市にとって公共交通が必要と考える人が 85%である。現在の必要性の 30%から大幅に上がり、将来の公共交通の充実が望まれている。



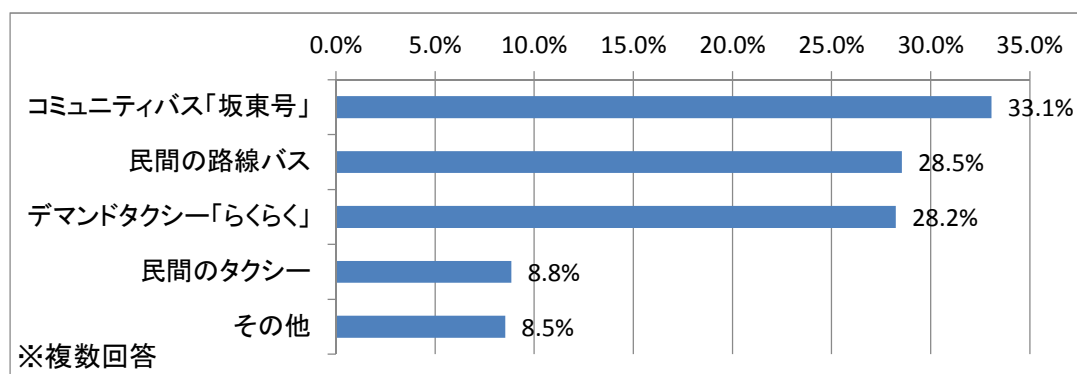
(3-2) 年齢層別の将来の坂東市にとっての公共交通の必要性

年齢層別に見ると、若年層ほど将来公共交通が必要と考えている割合が高い傾向がある。



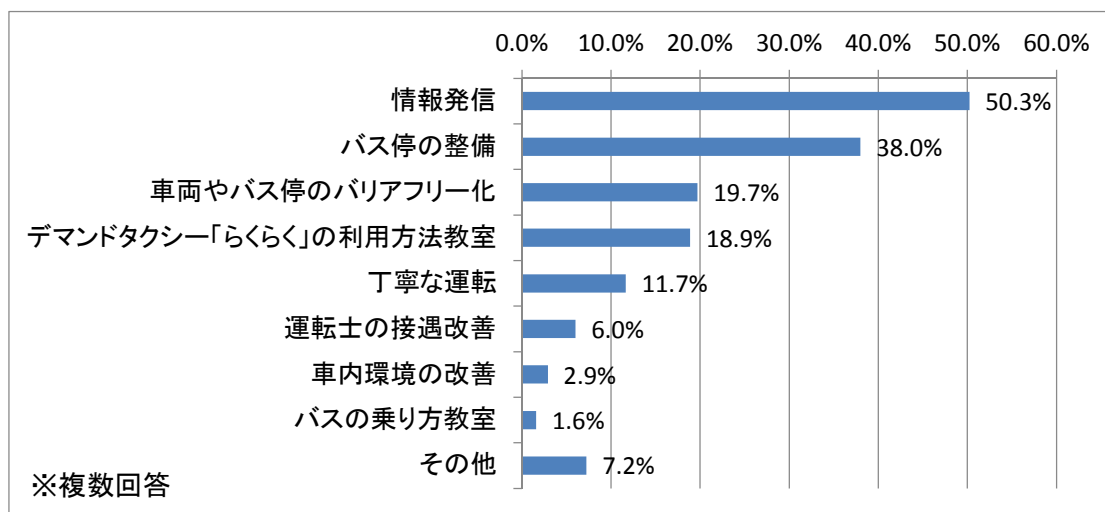
(4) 今後便利になってほしい交通手段

今後便利になってほしい交通手段は、コミュニティバス「坂東号」が 33%で最も高かった。民間の路線バスは 29%、デマンドタクシー「らくらく」は 28%の人に今後便利になってほしいと思われる。



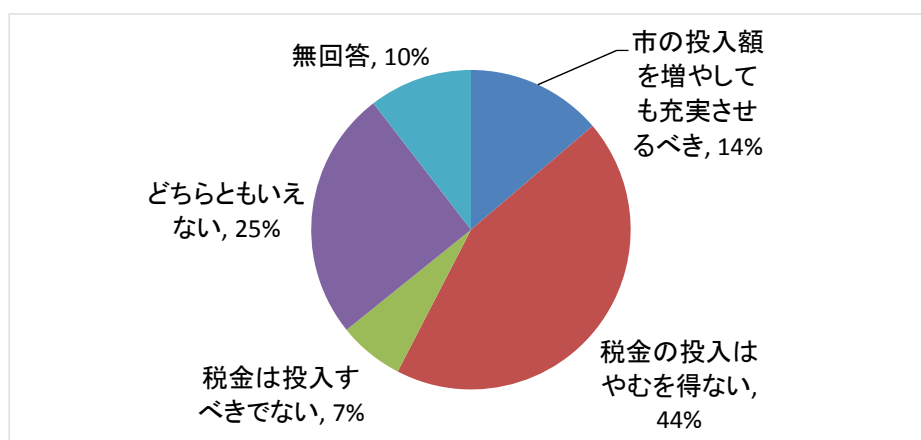
(5) 公共交通を使いやすくするために必要なこと

公共交通を使いやすくするために、情報発信が必要と考える人が多く、50%である。次にバス停の整備が必要と考える人が多い。



(6) 公共交通の維持・充実のための市の負担についての思い

公共交通の維持・確保のために税金の投入はやむを得ないと思う人が44%で多い。



14. 自由回答

364 票の自由回答があった。駅までの移動手段の確保やバスの増便、デマンドタクシー「らくらく」に対する意見、鉄道の誘致などについて意見が出た。

市民アンケートの配布物

依頼文はA4片面のものを配布した。

坂東市 公共交通に関する 市民アンケート ご協力をお願い

日頃から、市政へのご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

市では、コミュニティバス「坂東号」やデマンドタクシー「らくらく」、路線バス、タクシーなどの公共交通が、より使いやすくなるように検討を進めております。

このたび、市の公共交通の活性化を目指して、公共交通の計画（坂東市地域公共交通網形成計画）づくりを進めるため、市民の皆様の日常の外出状況や、公共交通に対するご意見を頂戴したく、アンケート調査を実施させていただくことといたしました。

つきましては、お手数をおかけして恐縮でございますが、このアンケート調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、このアンケートは、市内にお住まいの15歳以上、2,400名の方々を無作為に抽出させていただき、無記名にて実施させていただきますので、個人が特定されることはございません。また集計したデータは、他の目的で使用することも一切ございません。

令和元年9月 坂東市長 木村 敏文

<ご記入にあたってのお願い>

- アンケート調査票は、別紙の2種類あります。

- ①「質問形式」のアンケート調査票があります。
- ②「自由回答欄」のアンケート調査票があります。

- お答えいただいたアンケート調査票（2種類）を同封の返信用封筒に入れ、

9月20日(金曜日)までに

お近くの郵便ポストにご投函願います。（切手は不要です。）

- 宛名のご本人様にご回答ください。

○ご高齢などで記入が困難な方へ

ご家族やご友人の方などが、ご本人の立場になって、代筆くださいますようお願いいたします。

○未成年の方へ

保護者の方と相談して、ご回答いただきますようお願いいたします。

- ご不明な点につきましては、お手数ですが下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

坂東市役所 企画部 企画課 企画係

〒306-0692 坂東市岩井4365番地

電 話：0297-35-2121 / 0280-88-0111 内線1361

FAX：0297-35-8201

E-mail：kikaku@city.bando.ibaraki.jp

ご協力よろしくお願いいたします。

アンケート調査票はA3両面2つ折りのものを配布した。

【問8】 日常生活でバスを利用することを考えた場合の利用条件についておたずねします。

① 最低必要乗運行間隔 1. 24時間1便 2. 1時間1便 3. 30分1便 4. 10分1便
5. いずれにしても利用する 6. いずれにしても利用しない

② 必要乗運行時間帯 午前・午後 時 から 午前・午後 時 まで
(午前か午後に○をつけてください)

③ バス停までの徒歩時間の限度 1. 20分以内 2. 20分超 3. 30分以内 4. 30分超 5. 40分以内 6. 40分超 7. 50分以内 8. 50分超 9. 60分以内 10. 60分超 11. 70分以内 12. 70分超 13. 80分以内 14. 80分超 15. 90分以内 16. 90分超 17. 100分以内 18. 100分超 19. その他 20. いずれにしても利用する 21. いずれにも利用しない

④ 片道の運賃の限度額 1. 1,500円 2. 1,200円 3. 1,000円 4. 800円 5. 600円 6. 500円 7. 300円 8. 200円 9. 150円 10. 100円 11. その他 12. いずれにしても利用する 13. いずれにも利用しない

⑤ バスに合った場合にバスで行きたい場所・施設名

坂東市 公共交通に関する市民アンケート調査

・アンケート調査票は、①～④ページまであります。
・当てはまる番号に○をつけてください。回答箇所は、直接 内に記入ください。
・ご回答後、9月20日(金曜日)までに、同封の返信用封筒(貼らずに)入れ、郵便ポストにご投函いたします。

【問9】 家族等に送迎していただくことがある方におたずねします。

① 家族等に送迎していただく頻度 1. 平日ほぼ毎日 2. 週 回 3. 月 回 4. 年 回

② 主な送迎の目的 1. 送迎、通学・通園・通院で送迎 2. 送迎、通学・通園・通院で乗車、会社や学校で送迎
(1つだけ回答) 3. 送迎、通学・通園・通院で乗車に送迎 4. 通院や会社へ送迎送迎で送迎
5. その他

③ 家族等に送迎していただくことについての思い (主なものをつだけ回答)
1. 忙しすぎて送迎できない 2. 送迎したいが送迎できない 3. 送迎したいが、送迎の回数や送迎の距離が送迎できない 4. その他

【問10】 坂東市の公共交通について、あなたのご意見を伺いたいです。

① あなたは、現在、坂東市内の公共交通(バス・タクシー等)に満足していますか。
1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満 5. わからない
理由

② あなたにとって、現在、公共交通(鉄道・バス・タクシー等)は必要ですか。
1. 必要である 2. 必要ではない 3. どちらとも言えない

③ 将来、さらに高齢化が進んだときに、坂東市にとって、市民が生活するためには公共交通が必要だと感じますか。 1. 必要である 2. 必要ではない 3. どちらとも言えない

④ 今後、特に便利になってほしい送迎手段をお答えください。
1. 民間路線バス 2. コミュニティバス(巡回バス) 3. デマンドタクシー「らくらく」
4. 民間タクシー 5. その他

⑤ 公共交通を利用しやすくするために必要なことをお答えください。(複数回答可)
1. 公共交通マップや利用案内の増設 2. 送迎に付くことができるバスの増設 3. バスの乗り降りの改善
4. デマンドタクシー「らくらく」の増設 5. 市内道路の改善 6. 送迎の増設 7. 丁寧な運転
8. 車いすバスの増設 9. その他

⑥ 公共交通の維持・充実のために、市が負担(税金の投入)することについてどう思いますか。
1. 税金の投入を希望して、さらに公共交通を充実させるべき 2. 税金の投入は必要ではない
3. 税金は投入すべきではない 4. どちらとも言えない

別紙の自由回答欄もお願いします。

ご協力ありがとうございます。

【問1】 あなたの自身のことをおたずねします。

① 年齢 1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代 8. 80代 9. 90代 10. 100代以上

② 性別 1. 男性 2. 女性

③ 住所 市区町村(市町村) (大字名のみお答えください)
市町村(市町村) (大字名のみお答えください)

④ 世帯構成 1. 子・孫・親・同居 2. 夫婦二人暮らし 3. 一人暮らし 4. その他

⑤ 職業 1. 会社員・公務員 2. 自営業 3. パート・アルバイト 4. 専業主婦・主夫 5. 無職
6. 学生 7. 専業主婦 8. 学生・その他 9. その他

⑥ 自動車・バイクの運転免許の有無 1. ある 2. 以前あったが返却した 3. ない

⑦ 自動車・バイクの運転状況 1. 不安なく運転している 2. 不安に思っているが運転している 3. 運転しない

⑧ 自分で自由に使える自動車又はバイクの保有状況 1. ある 2. ない

⑨ 自宅近(800m以内)にバス停があるとき、バス停までの移動 1. できる 2. できない

⑩ 自宅の近くに車庫があるとき、自力の乗車 1. できる 2. 場所があるときできない 3. できない

【問2】 運転免許証をお持ちの方におたずねします。

① 高齢になったときの自動車・バイクの運転免許証の返却の考えをお答えください。
1. 返却しない 2. 返却しないが返却しない 3. 返却する(返却しない)

② 運転免許証を返却するために必要な条件をお答えください。(複数回答可)
1. 最新の公共交通手帳の取得 2. 最新の公共交通手帳の取得 3. 最新の公共交通手帳の取得
4. 最新の公共交通手帳の取得 5. 最新の公共交通手帳の取得 6. 最新の公共交通手帳の取得
7. 最新の公共交通手帳の取得 8. 最新の公共交通手帳の取得 9. 最新の公共交通手帳の取得
10. 最新の公共交通手帳の取得 11. 最新の公共交通手帳の取得 12. 最新の公共交通手帳の取得
13. 最新の公共交通手帳の取得 14. 最新の公共交通手帳の取得 15. 最新の公共交通手帳の取得
16. 最新の公共交通手帳の取得 17. 最新の公共交通手帳の取得 18. 最新の公共交通手帳の取得
19. 最新の公共交通手帳の取得 20. 最新の公共交通手帳の取得 21. 最新の公共交通手帳の取得
22. 最新の公共交通手帳の取得 23. 最新の公共交通手帳の取得 24. 最新の公共交通手帳の取得
25. 最新の公共交通手帳の取得 26. 最新の公共交通手帳の取得 27. 最新の公共交通手帳の取得
28. 最新の公共交通手帳の取得 29. 最新の公共交通手帳の取得 30. 最新の公共交通手帳の取得
31. 最新の公共交通手帳の取得 32. 最新の公共交通手帳の取得 33. 最新の公共交通手帳の取得
34. 最新の公共交通手帳の取得 35. 最新の公共交通手帳の取得 36. 最新の公共交通手帳の取得
37. 最新の公共交通手帳の取得 38. 最新の公共交通手帳の取得 39. 最新の公共交通手帳の取得
40. 最新の公共交通手帳の取得 41. 最新の公共交通手帳の取得 42. 最新の公共交通手帳の取得
43. 最新の公共交通手帳の取得 44. 最新の公共交通手帳の取得 45. 最新の公共交通手帳の取得
46. 最新の公共交通手帳の取得 47. 最新の公共交通手帳の取得 48. 最新の公共交通手帳の取得
49. 最新の公共交通手帳の取得 50. 最新の公共交通手帳の取得 51. 最新の公共交通手帳の取得
52. 最新の公共交通手帳の取得 53. 最新の公共交通手帳の取得 54. 最新の公共交通手帳の取得
55. 最新の公共交通手帳の取得 56. 最新の公共交通手帳の取得 57. 最新の公共交通手帳の取得
58. 最新の公共交通手帳の取得 59. 最新の公共交通手帳の取得 60. 最新の公共交通手帳の取得
61. 最新の公共交通手帳の取得 62. 最新の公共交通手帳の取得 63. 最新の公共交通手帳の取得
64. 最新の公共交通手帳の取得 65. 最新の公共交通手帳の取得 66. 最新の公共交通手帳の取得
67. 最新の公共交通手帳の取得 68. 最新の公共交通手帳の取得 69. 最新の公共交通手帳の取得
70. 最新の公共交通手帳の取得 71. 最新の公共交通手帳の取得 72. 最新の公共交通手帳の取得
73. 最新の公共交通手帳の取得 74. 最新の公共交通手帳の取得 75. 最新の公共交通手帳の取得
76. 最新の公共交通手帳の取得 77. 最新の公共交通手帳の取得 78. 最新の公共交通手帳の取得
79. 最新の公共交通手帳の取得 80. 最新の公共交通手帳の取得 81. 最新の公共交通手帳の取得
82. 最新の公共交通手帳の取得 83. 最新の公共交通手帳の取得 84. 最新の公共交通手帳の取得
85. 最新の公共交通手帳の取得 86. 最新の公共交通手帳の取得 87. 最新の公共交通手帳の取得
88. 最新の公共交通手帳の取得 89. 最新の公共交通手帳の取得 90. 最新の公共交通手帳の取得
91. 最新の公共交通手帳の取得 92. 最新の公共交通手帳の取得 93. 最新の公共交通手帳の取得
94. 最新の公共交通手帳の取得 95. 最新の公共交通手帳の取得 96. 最新の公共交通手帳の取得
97. 最新の公共交通手帳の取得 98. 最新の公共交通手帳の取得 99. 最新の公共交通手帳の取得
100. 最新の公共交通手帳の取得 101. 最新の公共交通手帳の取得 102. 最新の公共交通手帳の取得
103. 最新の公共交通手帳の取得 104. 最新の公共交通手帳の取得 105. 最新の公共交通手帳の取得
106. 最新の公共交通手帳の取得 107. 最新の公共交通手帳の取得 108. 最新の公共交通手帳の取得
109. 最新の公共交通手帳の取得 110. 最新の公共交通手帳の取得 111. 最新の公共交通手帳の取得
112. 最新の公共交通手帳の取得 113. 最新の公共交通手帳の取得 114. 最新の公共交通手帳の取得
115. 最新の公共交通手帳の取得 116. 最新の公共交通手帳の取得 117. 最新の公共交通手帳の取得
118. 最新の公共交通手帳の取得 119. 最新の公共交通手帳の取得 120. 最新の公共交通手帳の取得
121. 最新の公共交通手帳の取得 122. 最新の公共交通手帳の取得 123. 最新の公共交通手帳の取得
124. 最新の公共交通手帳の取得 125. 最新の公共交通手帳の取得 126. 最新の公共交通手帳の取得
127. 最新の公共交通手帳の取得 128. 最新の公共交通手帳の取得 129. 最新の公共交通手帳の取得
130. 最新の公共交通手帳の取得 131. 最新の公共交通手帳の取得 132. 最新の公共交通手帳の取得
133. 最新の公共交通手帳の取得 134. 最新の公共交通手帳の取得 135. 最新の公共交通手帳の取得
136. 最新の公共交通手帳の取得 137. 最新の公共交通手帳の取得 138. 最新の公共交通手帳の取得
139. 最新の公共交通手帳の取得 140. 最新の公共交通手帳の取得 141. 最新の公共交通手帳の取得
142. 最新の公共交通手帳の取得 143. 最新の公共交通手帳の取得 144. 最新の公共交通手帳の取得
145. 最新の公共交通手帳の取得 146. 最新の公共交通手帳の取得 147. 最新の公共交通手帳の取得
148. 最新の公共交通手帳の取得 149. 最新の公共交通手帳の取得 150. 最新の公共交通手帳の取得
151. 最新の公共交通手帳の取得 152. 最新の公共交通手帳の取得 153. 最新の公共交通手帳の取得
154. 最新の公共交通手帳の取得 155. 最新の公共交通手帳の取得 156. 最新の公共交通手帳の取得
157. 最新の公共交通手帳の取得 158. 最新の公共交通手帳の取得 159. 最新の公共交通手帳の取得
160. 最新の公共交通手帳の取得 161. 最新の公共交通手帳の取得 162. 最新の公共交通手帳の取得
163. 最新の公共交通手帳の取得 164. 最新の公共交通手帳の取得 165. 最新の公共交通手帳の取得
166. 最新の公共交通手帳の取得 167. 最新の公共交通手帳の取得 168. 最新の公共交通手帳の取得
169. 最新の公共交通手帳の取得 170. 最新の公共交通手帳の取得 171. 最新の公共交通手帳の取得
172. 最新の公共交通手帳の取得 173. 最新の公共交通手帳の取得 174. 最新の公共交通手帳の取得

【問4】 日常的な外出についておたずねします。

「通勤・通学」、「買物」、「通院」、「その他（公共施設の利用や趣味等）」の目的ごとに、最も多い外出先について、交通手段、行く頻度、外出・帰宅時刻とあわせてお答えください。（外出先が特に決まっていらない場合は、最近の外出についてお答えください。また、該当する外出がない場合は、空欄で結構です。）

利用する交通手段すべての番号を以下から並び記入ください。

① 鉄道 ② 交差点の路線バス ③ コミュニティバス ④ 坂東バス ⑤ 急ぎのバス ⑥ 急ぎのバス ⑦ 急ぎのバス ⑧ 急ぎのバス ⑨ 急ぎのバス ⑩ 急ぎのバス ⑪ 急ぎのバス ⑫ 急ぎのバス ⑬ 急ぎのバス ⑭ 急ぎのバス ⑮ 急ぎのバス ⑯ 急ぎのバス ⑰ 急ぎのバス ⑱ 急ぎのバス ⑲ 急ぎのバス ⑳ 急ぎのバス ㉑ 急ぎのバス ㉒ 急ぎのバス ㉓ 急ぎのバス ㉔ 急ぎのバス ㉕ 急ぎのバス ㉖ 急ぎのバス ㉗ 急ぎのバス ㉘ 急ぎのバス ㉙ 急ぎのバス ㉚ 急ぎのバス ㉛ 急ぎのバス ㉜ 急ぎのバス ㉝ 急ぎのバス ㉞ 急ぎのバス ㉟ 急ぎのバス ㊱ 急ぎのバス ㊲ 急ぎのバス ㊳ 急ぎのバス ㊴ 急ぎのバス ㊵ 急ぎのバス ㊶ 急ぎのバス ㊷ 急ぎのバス ㊸ 急ぎのバス ㊹ 急ぎのバス ㊺ 急ぎのバス ㊻ 急ぎのバス ㊼ 急ぎのバス ㊽ 急ぎのバス ㊾ 急ぎのバス ㊿ 急ぎのバス

24時間営業 午後4時～16時と記入

目的	外出先住所 (住所がわからない場合は匿名で)	交通手段	平日に 行く頻度	土曜日に 行く頻度	外出時刻・ 帰宅時刻
(収入) 収入	市町村名 大平市	② ⑥	1. 平日ほぼ毎日 2. 週 3 回 3. 月 3 回	① 週 2 回 2. 週 3 回 3. 年 3 回	外出 10時台 帰宅 16時台
通勤・通学	市町村名 大平市		1. 平日ほぼ毎日 2. 週 3 回 3. 月 3 回	1. 週 3 回 2. 月 3 回 3. 年 3 回	外出 時台 帰宅 時台
買物	市町村名 大平市		1. 平日ほぼ毎日 2. 週 3 回 3. 月 3 回	1. 週 3 回 2. 月 3 回 3. 年 3 回	外出 時台 帰宅 時台
通院	市町村名 大平市		1. 平日ほぼ毎日 2. 週 3 回 3. 月 3 回	1. 週 3 回 2. 月 3 回 3. 年 3 回	外出 時台 帰宅 時台
その他 (公共施設・ 趣味等)	市町村名 大平市		1. 平日ほぼ毎日 2. 週 3 回 3. 月 3 回	1. 週 3 回 2. 月 3 回 3. 年 3 回	外出 時台 帰宅 時台

【問5】 鉄道の利用についておたずねします。

① 鉄道の利用頻度 → 「5. 利用しない」を記入の方は【問6】へお進みください。

1. 平日ほぼ毎日 2. 週 3 回 3. 月 3 回 4. 年 3 回 5. 利用しない

② 最も利用する駅 (主なもの1つだけ回答)

1. 駅名 2. 駅名 3. 駅名 4. 駅名 5. その他

③ ②で回答した駅までの交通手段 (主なもの1つだけ回答)

1. 民間の路線バス 2. 民間のタクシー 3. 自動車 (自家用車) 4. 自転車 (家族の送迎)

5. バイク 6. 自転車 7. 徒歩 8. その他

④ ②で回答した駅までの所要時間 分

【問6】 民間の路線バスやコミュニティバス「坂東号」についておたずねします。

① コミュニティバス「坂東号」を知っていますか。

1. 利用したことがある 2. 知っているが利用したことはない 3. 知らない

② バスの利用頻度 → ①から「5. ほとんど利用しない」を記入の方は【問7】へお進みください。

民間の路線バス

1. 平日ほぼ毎日 2. 週 3 回 3. 月 3 回 4. 年 3 回

5. ほとんど利用しない

コミュニティバス「坂東号」

1. 平日ほぼ毎日 2. 週 3 回 3. 月 3 回 4. 年 3 回

5. ほとんど利用しない

③ バスの利用目的

1. 通勤 2. 通学 3. 買物 4. 通院 5. 公共施設の利用 6. 知人と会う

7. 趣味・遊び等 8. その他

④ 最も利用するバス停

乗車バス停 (自宅側) 降車バス停 (目的地側)

⑤ 自宅から乗車するバス停までの交通手段 (主なもの1つだけ回答)

1. 徒歩 2. 自転車 3. 自動車 (家族等の送迎) 4. その他

⑥ 自宅から乗車するバス停までの徒歩での所要時間 歩 分

⑦ 過去1年間のバスの利用頻度の変化の状況

→ 「1. 利用頻度は変わらない」を記入の方は【問7】へお進みください。

1. 利用頻度は変わらない 2. 利用頻度が増えた 3. 利用頻度が減った

⑧ バスの利用頻度の変化の理由をお教えください。

1. 外出する回数が増えたから 2. 外出する機会が減ったから 3. 車を使わなくなったから

4. マイカー・タクシーで移動する回数が増えたから 5. その他

⑨ バスを利用しない方にお聞きします。利用しない理由をお答えください。(複数回答可)

1. 運行時間が合わない 2. 運行日が合わない 3. 乗降が難しい 4. バス停が自宅の近くにない

5. バス停が目的地の近くにない 6. 自動車や自転車の方が便利 7. 家族等に送ってもらえる

8. バスの運行情報が分からない 9. その他

【問7】 坂東市デマンドタクシー「らくらく」についておたずねします。

① デマンドタクシー「らくらく」を知っていますか。

1. 登録している 2. 知っているが登録していない 3. 知らない

② デマンドタクシー「らくらく」を利用しない方にお聞きします。利用しない理由をお答えください。(複数回答可)

1. 利用方法が分からない 2. 運行時間が合わない 3. 運行日が合わない 4. 行き先が目的地にない

5. 利用料金が安い 6. 予約が面倒 7. 自転車や自走車の方が便利 8. 家族等に送ってもらえる

9. 料金は必要としない 10. その他

自由回答欄はA4方面のものを配布した。

②

公共交通に関する市民アンケート調査 自由回答欄

坂東市の公共交通に関するご意見・ご要望やアイデアがありましたらご記入ください。

別紙のアンケート票もお願いします。ご協力ありがとうございました。